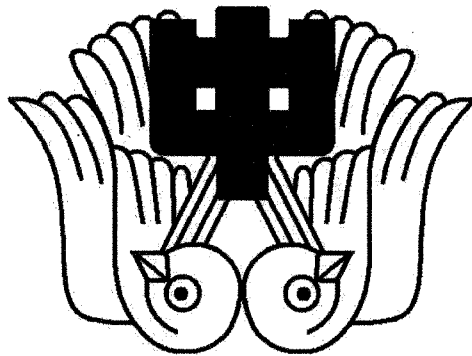


令和 6 年度



1 学年

シラバス



上尾市立上尾中学校

# 国語科シラバス

1 学年

## 【国語って何？】

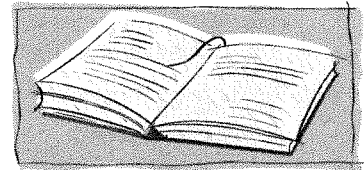
- (1) 自分で自分の言葉の力を高めるための教科。
- (2) 言葉を学びながら、美しいものを味わい、人間の真実の姿を知り、人間や社会のあり方について考える教科。
- (3) 授業で学んだ言葉の力が自分の生活に生かされ、生活で学んだ言葉の力（読書、生徒会活動等）が授業に生かされる教科。

## 【言葉の力とは？】

- (1) 自分の意見や考えをはっきりと主張でき、自分のことを相手によく分かってもらったり、相手の心を動かしたりできる力。話す力。
- (2) 文学作品に表わされた美を味わい、人間や人生の奥深い姿を知る力。文学を読む力。
- (3) 自然科学や社会科学など、あらゆる分野の情報を取り入れる力。説明文を読む力。
- (4) 自分の意見や考えを誰にでも分かるように書き、相手の心を動かす力。書く力。

## 【言葉の力を身に付けるには？】

- (1) 読書をする。
- (2) 課題や先生の質問に対し、自分で考える。
- (3) 授業中に発言する。
- (4) 声を出して教材文を読む。
- (5) 書きたいと思うことをたくさん書く。
- (6) 正しい漢字、正しい言葉づかいを普段から意識する。
- (7) 漢字は字の意味も覚える。
- (8) 進んで学習する。(何よりもやる気が大切です。)



## 【こんな方法で評価します。】

国語は次の3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を、A（十分満足できる）B（おおむね満足）C（努力を要する）の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基に5段階の評定をします。

\*分かりやすく説明すると、こんな人が「A」になります。

観点	
知識・技能	テストで知識を問う問題（漢字・文法・語句）の理解度が高い。 言葉の決まりを理解して正しく文章が書くことができる。 文字を丁寧に書くことができる。
思考・判断・表現	テストで理解を問う問題の理解度が高い。 文章を正確に早く読み取れる。 話を正しく聞き、理解できる。スピーチや話し合い活動で考えを他者に伝えられる。 感想や考え、意見などが根拠を持ってわかりやすく書ける。書くことの学習（創作）でよい作品ができる。
主体的に学習に取り組む態度	授業、学習に対して粘り強く取り組み、学力の向上を図ろうとしている。 宿題や提出物をきちんと充実した内容で提出できる。 ノートをきちんと整理し、進んで学ぼうとする。 しっかりと話を聞き、進んで発表する。話し合い活動に積極的に参加する。

## 【使用教材等】

教科書、ノート、ワーク（教科書、漢字、文法等）、国語辞典（各自必ず用意してください）

【学習の予定】

月	学習すること	学習のポイント
4	【言葉に出会うために】 朝のリレー 野原はうたう 声を届ける 書き留める/言葉を調べる 書写	○朗読やスピーチで大切なことは…… ・はっきりと、よく聞こえるように。 ・速さ、強弱に気を付けて。 ・間の取り方を考えて。
5	【学びをひらく】 シンシユン 情報を的確に聞き取る 漢字の組み立てと部首 【新しい視点で】 ダイコンは大きな根？ 書写（硬筆）	○説明文を読むときには…… ・段落に着目して文章を読もう。 ・問題提起の部分（問いの部分）と、答えの部分に着目しよう。
6	ちよつと立ち止まって 記録のしかたを工夫する 「好きなこと」をスピーチで紹介 する 情報を集めよう 話し言葉と書き言葉 書写	○文法学習がスタートします ・「文節」をしっかり理解しよう。ここでつまずくと文法が苦手 になります。  *漢字の小テストを定期的実施します。
7	【言葉に立ち止まる】 詩の世界 言葉を集めよう 比喩で広がる言葉の世界 文法1 言葉のまとまりを考えよう 書写	*硬筆の優秀作品は展覧会に出品します。 *学期末にはノートの点検をします。
8	【心の動き】 星の花が降るころに 大人になれなかった弟たちに	○物語、小説を読むときには…… ・あらすじを確実に押さえよう。 （いつ、どこで、だれが、どうした） ・登場人物の心情（気持ち）を考える。
9	案内文を書く 聞き上手になろう 【筋道を立てて】 「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ 根拠を示して説明しよう グループディスカッションをする 書写	○初めての古典学習 ・古典学習は「習うより慣れる」ことが重要です。何度も声を出 して読んでみよう。そして、古典独特のリズムを体で覚えよう。
10	漢字に親しもう 【いにしへの心にふれる】 いろは歌 月に思う 蓬莱の玉の枝 「竹取物語」から 書写	○レポートのまとめ方 ・全体の構成を考えよう。また、調べたことと考えたことを書き 分けよう。
11	今に生きる言葉 【価値を見いだす】 「不便」の価値を見つめ直す 助言を自分の文章に生かそう 文法2 言葉の関係を考えよう 書写	*古典では暗唱のテストを実施します。 *書き初めも硬筆と同様、優秀作品は市の展覧会に出品します。
12	考える人になろう 書写（毛筆）	○漢字を学習するときに大切なこと。 ・漢字は、「読める」「意味がわかる」「書ける」の順に大切です。 漢字の意味も覚えておきたい。
1	【自分を見つめる】 少年の日の思い出 さまざまな表現技法 漢字の成り立ち 書写	*小学校6年生で学習した漢字は、中学校では書けなければなりま せん。 *実力テストは教科書本文以外からの出題となる。その場で読んで、 その場で考えて解答することになるので、授業中の質問には、自 分で考える習慣をつけておこう。
2	随筆二編 文法3 単語の性質を見つけよう 構成や描写を工夫して書こう 書写	
3	一年間の学びを振り返ろう さくらの はなびら	

## 【社会科って何？】

社会科は、「地理」「歴史」「公民」の3つの分野に分かれています。1年生では、地理と歴史の分野をそれぞれ半分ずつ(歴史「2つの世界大戦」以降は3年生で学習)学習します。地理では、世界にあるたくさんの国々や地域について学習します。白地図に取り組み、作業学習もあります。歴史では、人類の出現から文明の発生、武士の社会について勉強します。写真やビデオなども利用して学習します。

## 【社会科を学習するとこんな力がつきます】

- \*日本や世界の地理と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解するとともに、各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表などにまとめる力
- \*社会的事象から、問題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえ公正に判断するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する力
- \*社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、民主的で平和な国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとする力

## 【こんな方法で評価します】

社会科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点からABCの3段階で評価します。3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	評定
「知識・技能」	A	B	C	5
「思考・判断・表現」	A	B	C	4
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	3
				2
				1

【それぞれの観点は次のような方法で評価します。】

観点	評価方法	評価のめあて
知識・技能	学習ノート、レポート 発言、発表 その他提出物	日本の国土と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解することができる。 年表、地図、統計など様々な資料から情報を読み取ったり、気付いたことを表などにまとめることができる。
思考・判断・表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	様々な社会的事象の特色やかかわり、変容の理由を、多面的・多角的に考察し、表現することができる。 課題の解決に向けて自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。

主体的に学習に取り組む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート、レポート 定期テスト、振り返りカード 発言、発表	積極的に授業に取り組み、学習に対する見通しを持って、課題を主体的に追究することができる。
---------------	---	--

### 【学習の予定】

	月	学習すること	学習のねらい
1 学 期	4	「世界の姿」	<ul style="list-style-type: none"> <li>地球儀や地図を使って地球への関心を高める。</li> <li>世界が様々な国々で構成されていることを理解する。</li> <li>日本の国土の位置や領土、経度・緯度、都道府県名・県庁所在地名などに理解する。</li> <li>日本の地形や気候の特色について理解する。</li> </ul>
	5	「日本の姿」	
	6 7	「世界各地の人々の生活と環境」	
2 学 期	8	「世界の諸地域」	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で異なる自然環境の違いを写真・映像・雨温図・統計資料等によみとり、様々な条件のもとで多様な生活をしていることを理解する。</li> </ul>
	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の諸地域の自然環境・産業・生活・文化歴史的背景などについて理解する。</li> </ul>
	10 11		<ul style="list-style-type: none"> <li>世界のさまざまな地域について、自ら情報を集め、テーマを決め、調査や考察を行い、発表できる。</li> </ul>
	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史に関する興味・関心や学習への意欲を高め、大きな流れをつかむ。</li> </ul>
3 学 期	1	「古代までの日本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の古代文明と、日本列島においての人々の生活の始まりについて理解する。</li> <li>聖徳太子の政治から摂関政治について理解する。</li> <li>武家政権の誕生から武士や民衆の生活について理解する。</li> <li>モンゴルの襲来、日明貿易、琉球など東アジアとの関わりを理解する。</li> </ul>
	2	「中世の日本」	
	3		

### 【使用教材】

教科書・ノート・地図帳・白地図・歴史資料集・地理資料集、ワーク

\*年度により若干変更もあります

# 数学科シラバス



第1学年

＜第1学年の生徒・保護者の皆様へ＞

本年度、第1学年数学の授業について御案内します。各自が、この1年間の学習目標を定めたり、学習計画を立てたりする上で十分に御活用ください。

## 【数学って何？】

基本的には算数の延長です。中学校ではさらに、数の概念、論理的な思考力を身に付けるための授業を展開していきます。

## 【こんな力がつきます。】

文字を使ってある事柄を式で表して考えていく力、物事を論理的に推論していく力。

【目 標】 第1学年の数学の目標は、次のようになっています。

### A <数 と 式>

- ・正の数と負の数について理解し、四則計算ができるようにする。
- ・文字を用いることの意義を理解し、文字を用いた式の計算ができるようにする。
- ・方程式の意味を理解し、一元一次方程式を用いることができるようにする。

### B <図 形>

- ・基本的な作図の能力を身に付けたり、平面図形について理解を深めたりする。
- ・空間図形についての理解を深め、図形の計量ができるようにする。

### C <数量関係>

- ・比例と反比例の見方や考え方を身に付ける。
- ・比例と反比例を理解し、数量関係を式・表・グラフを用いて表現できるようにする。

### D <データの活用>

- ・目的に応じて資料を収集して整理し、その資料の傾向を読み取り、説明することができる。

## 【こんな方法で評価します。】

### <評価の観点>

#### ①知識・技能

正負の数、文字と式、方程式、比例と反比例、平面図形、空間図形、データの活用などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、処理する方法を身に付けている。

#### ②思考・判断・表現

既に学習したことと関連付けて、計算の方法を考察し表現することができる。また、事象を具体的な場面で活用したり、解決方法が適切であるか判断したり、説明したりすることができる。

#### ③主体的に学習に取り組む態度

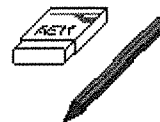
さまざまな事象を数学的にとらえたり、考えたりしようとし、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。また、問題解決の過程を振り返って、評価改善しようとしている。

### <評価の方法>

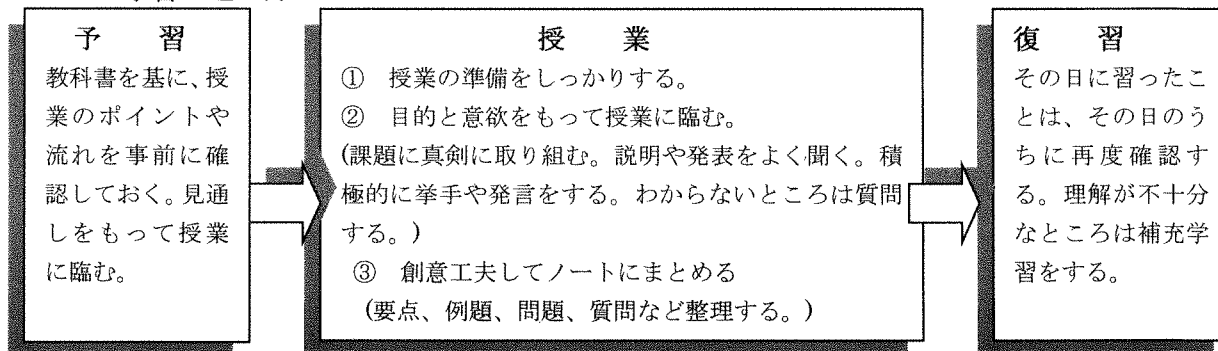
毎時間の授業への取組、定期試験の結果、提出物を基にして、3つの観点のそれぞれを「十分満足できる…A、おおむね満足…B、努力を要する…C」の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に総合的に評価し、5段階の評定をします。

### <使用教材>

- ・教科書
- ・プリント…問題解決的な練習問題や観察・操作・実験などに使うものなど。
- ・ワークブック…基礎・基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集。



## <学習の進め方>



【内 容】

学期	月	学習の内容	学習のねらい
1 学期	4 月	オリエンテーション	数学の授業の目標、内容、評価などを知る。
		0 章 算数から数学へ ・整数の性質	・自然数をいくつかの数の積で表すことのできるよさや素因数分解の意味を理解する。
	5 月	1 章 数の世界をひろげよう [正負の数] ・負の数の必要性 ・正の数と負の意味 ・正の数と負の数の四則計算 ・素数の積 ・正負の数の利用	・日常の具体的な事象を通して、正の数と負の数の意味を理解する。 ・正負の数の大小について不等号を用いて表すことができる。 ・正の数と負の数の四則計算ができるようにする。 ・正負の数についても、加法、乗法の交換、結合、分配法則が成り立つことを理解する。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	6 月	2 章 数学のことは身に付けよう[文字と式] ・文字を用いることの意義 ・文字を用いた式における乗法、除法の表し方	・文字を用いて、関係や法則を式に表現することができる。 ・文字を用いた式の意味をよみとることができるようにする。
7 月	・文字式の利用 問題演習	・文字を用いた式の計算ができるようにする。 ・数学的な見方や考え方を身に付ける。	
2 学期	8 月 9 月	3 章 未知の数の求め方を考えよう[方程式] ・方程式とその解き方 ・大小関係を表す式 ・一元一次方程式を解くこと ・一次式の加法と減法 ・比例式	・方程式について理解する。 ・一元一次方程式を解くことができるようにする。 ・一元一次方程式を用いて、具体的な問題解決ができるようにする。
	10 月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	11 月	4 章 数量の関係を調べて問題を解決しよう[比例と反比例] ・比例、反比例の意味 ・座標の意味 ・比例、反比例の表、式、グラフ ・比例、反比例の見方や考え方の活用	・具体的な事象の中にある二つの数量の変化や対応を調べることを通して、比例や反比例の関係を見いだす。 ・比例と反比例の関係を表現したり、考察したりすることができるようにする。
	12 月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
3 学期	1 月	5 章 平面図形の見方をひろげよう[平面図形] ・図形の移動 ・基本的な作図	・見通しをもって基本的な図形を作図することができるようにする。 ・平面図形について理解する。 ・垂線、垂直二等分線、角の二等分線の作図ができるようにする。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	2 月	6 章 立体の見方をひろげよう[空間図形] ・空間における直線や平面の位置関係 ・直線や平面の運動による空間図形の構成 ・扇形の弧の長さや面積 ・柱体・錐体の表面積と体積	・観察、操作、実験などを通して、図形を考察することができるようにする。 ・空間図形について理解する。 ・扇形の弧の長さや面積を求めることができるようにする。 ・基本的な柱体・錐体の表面積と体積を求めることができるようにする。
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
3 月	7 章 データを活用して判断しよう[データの分析と活用] ・度数分布表、相対度数、累積度数 ・範囲と代表値 ・統計的確率	・データの分布の様子を読み取る。 ・代表値、近似値の必要性和意味を理解する。	
	問題演習 一年間のまとめ ・一年間の総復習問題	・数学的な見方や考え方を身に付ける。 ・一年間の総復習問題をやることで再度、理解を深める。	



【使用教材等】

ワーク、プリント教材等を教材費より購入させていただきます。

# 理科シラバス

1 学年

## 【理科って何？】

私たちの身近な自然や現象をじっと観察してみましょう。不思議だなと思うことがたくさんありませんか。自然の中には思いがけないつながりや規則性があります。理科は、そんな自然現象の不思議を見付け、なぜそのようなことがおこるのか、実験や観察を行い、その結果をもとに自然の特徴や規則性を見付け出していく勉強です。そのために、中学校の理科の授業では、基本的な知識を土台として、好奇心（興味や関心）をもってじっくりと自然現象と向き合う姿勢、正しい実験操作技術、結果を分かりやすくまとめる力、そして、結果からいえることを筋道を立てて考える力を付けていきます。



## 【こんな力がつきます。】

- 1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けます。（知識・技能）
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。（思考・判断・表現）
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養います。（主体的に学習に取り組む態度）

## 【こんな方法で評価します。】

理科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	
「知識・技能」	A	B	C	評定 5 4 3 2 1
「思考・判断・表現」	A	B	C	
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	

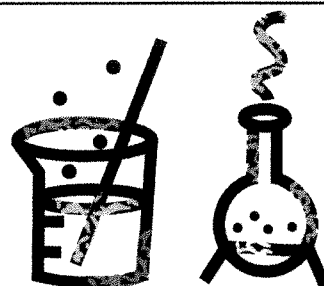
それぞれの観点は次のような方法で評価します。

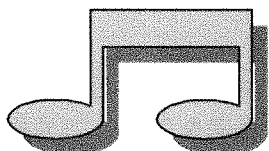
観点	評価方法	評価のめあて
知識 技能	定期テスト、小テスト 学習ノート、レポート 技能テスト、制作物	基礎的な理科の知識、考え方を身につけている。 安全、正確に実験を行うことができる。 実験結果を分かりやすくまとめることができる。 実験結果を正確にグラフ、表に表すことができる。 観察結果を細部までスケッチすることができる。
思考 判断 表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言および発言の発想	実験、観察の目的を踏まえて、結果をもとに筋道を立てて考察することができる。 自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。 計算の問題を解くことができる。
主体的に 学習に取り 組む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート レポート、提出物	進んで事物・現象に関わることができる。 見通しをもったり、振り返りを行ったり、科学的に探究することができる。 提出物の内容を評価する。



【学習の予定】

月	単元	学習内容
4	1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類	身のまわりの生物を観察しよう 観察器具の使い方（ルーペ、双眼実体顕微鏡） スケッチの仕方 プレパラートのつくり方、レポートの書き方
5	2章 植物の体の共通点と相違点	花から種子へ 花のつくり 葉や根のつくり マツ・コケ・シダのつくり
6	3章 動物の体の共通点と相違点	脊椎動物と無脊椎動物の特徴 無脊椎動物の分類
	4章 生物の分類	植物の分類 動物の分類
7	4 光・音・力 1章 光の性質	光と物体の見え方、光のはね返し方 光の折れ曲がり方、光の集まり方 凸レンズのはたらき
8	2章 音の性質	音と振動、音の大きさや高さ、音の伝わり方 音の伝わる速さ
9	3章 力のはたらき	力の表し方、いろいろな力、力のつり合い
10	2 身のまわりの物質 1章 いろいろな物質とその見分け方	実験器具の使い方（ガスバーナー、メスシリンダー） 金属と金属でない物質を区別する 白色粉末を区別する 密度で区別する
	2章 気体の性質	気体の集め方・調べ方 空気に含まれる気体 さまざまな気体
11	3章 水溶液の性質	物質が水にとけるようす 水溶液の濃度（質量パーセント濃度） 水溶液から溶質を取り出す方法
	4章 物質の状態変化	状態変化と質量、体積 状態変化と温度 沸点の違いの利用
12		
1	3 大地の成り立ちと変化 1章 大地の歴史と地層	堆積岩、化石 示相化石、示準化石
2	2章 火山活動と火成岩	火山の噴火、火山噴出物、 火山の形とマグマの粘り気、火成岩
3	3章 地震と大地の変化	揺れの伝わり方、震度、マグニチュード 地震が起こる仕組み
	4章 大地の躍動と恵み	地震に備えて、自然の恵み





# 音楽科 シラバス

1 学年

## 【(音楽) って何?】

○ 授業では歌唱、器楽、鑑賞、創作に取り組みます。

歌唱では、斉唱や合唱を中心に、器楽ではアルトリコーダー演奏を中心に、鑑賞では幅広い音楽に触れ、創作では簡単な旋律づくりを行います。そして、それらの活動を通じて、基礎的な知識や技能、表現力や感性を高め、豊かな情操を養います。

## 【こんな力がつきます。】

- 1 音楽の興味・関心を高め、生活を明るく豊かなものにすることができます。
- 2 音楽の持つ美しさや豊かさを感じたり、基礎的な知識・技能を身に付けたりすることによって、より豊かで創造的な音楽表現ができるようになります。
- 3 幅広い音楽活動を通して、心豊かに音楽を鑑賞することができます。

## 【こんな方法で評価します。】

音楽の教科は次の3つの観点(通知票に記載)を、ABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCをもとにして5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定	
				→	
知識・技能	A	B	C		5
思考・判断・表現	A	B	C		4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C		3
					2
					1

## 評価の規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の構造や歌詞の内容について理解している。</li> <li>・曲や歌詞に応じた発声について理解している。</li> <li>・発音や姿勢など、歌うために必要な発声や、全体の響きに合わせて歌う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能を生かして、表現を工夫している。</li> <li>・音楽を形づくっている要素をとらえ、雰囲気を感じとり、よさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を楽しみながら、すすんで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

## 【学習の予定】

月	題材名・教材名	学習内容
4	歌唱 「上尾中学校校歌」 「We'll Find The Way~はるかな道へ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校歌の意味を理解し、愛校心と誇りを持つ</li> <li>・歌詞の朗読を行い、歌詞の意味を感じ取る。</li> <li>・拍の流れののって明るい声で歌う。</li> <li>・正しい発声で歌詞の意味を感じ取り、大きな声で元気良くのびのび歌う。</li> </ul>
5	歌唱 「主人は冷たい土の中に」 「浜辺の歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想を感じ取り、曲の構成を生かし、表現を工夫して演奏する。</li> </ul>

6	器楽・アルト リコーダー 「喜びの歌」	・リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。
7	鑑賞 「春 第1楽章」	・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。 ・イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。
8 9 10	器楽・アルトリコーダー 「オーラリー」  歌唱 ・合唱祭 学年合唱曲・クラス合唱曲	・リコーダーの特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付け、曲想を感じ取りながら表現を工夫して演奏する。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、旋律のまとまりや全体の響きをとらえたり、言葉の特性を生かしたりしながら、表現を工夫して合唱する。
11	鑑賞 「魔王」	・詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。
12	鑑賞 ・日本の民謡 ・アジアの諸民族の音楽 「ソーラン節」 歌唱 「赤とんぼ」	・日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴をとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさを味わいながら聴く。 ・民謡にふさわしい発声により、言葉の特性を生かしながら表現を工夫して歌う。 ・歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取り、情景を思い浮かべながら、表現を工夫して表情豊かに歌う。
1 2	鑑賞 「六段の調」  器楽 ・箏 「虫づくし」「さくらさくら」  創作 「My Melody」	・箏曲の特徴と背景とのかかわりをとらえることで音楽の多様性を感じ取り、そのよさや美しさ、箏の音色を味わいながら聴く。 ・箏の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。 ・箏を平調子に調弦してその音階の特徴を感じ取り、表現を工夫して簡単な旋律をつくる。 ・音のつながり方の特徴について理解し、それらを生かして音楽をつくる。
3	映画「ジョーズ」より「ジョーズのテーマ」  歌唱 ・卒業にむけての合唱曲 ・国歌「君が代」 ・「上尾中学校校歌」	・音楽の特徴を、曲想や背景と関連付けて、そのよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴き、言葉で説明するなどする。 ・イメージと音楽とのかかわりを感じ取って、そのよさや美しさを味わいながら聴き、言葉で説明するなどする。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、パートの役割や全体の響きをとらえ、仲間と一緒に表現を工夫して表情豊かに合唱する。

# 美術科シラバス

1 学年

## 【美術って何？】

小学校の図画・工作とほぼ同じように考えて下さい。絵を描いたり、立体的な作品を制作したりします。小学校のときには使わなかった材料や道具を使用するなど、図工よりもやや専門的になります。

作品の制作や鑑賞を通して、自分らしい表現ができるようになることを目標としています。

## 【美術は 3 つの観点を総合して 5 段階の評定を出します】

知識・技能	思考・判断・能力	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</li> <li>造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</li> <li>材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</li> </ul>	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を見つめ形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> </ul>	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情をこめ、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</li> </ul>

3つの観点それぞれに

A (十分満足できる)、B (おおむね満足)、C (努力を要する) で評価します。

A の評価は…B に示した力をより発揮できたものが A になります。

B の評価は…【丁寧に表現する力】【魅力的に見せるために複雑に表現する力】

【図工や美術の技能を活用する応用力】

【経験や他者の作品から学び、よりよい作品を作ろうとする姿】

【試行錯誤し、計画を立てうまくいかない時には修正を加える姿】

【決められた期限の中で作品やレポートを計画的に仕上げる力】

## 評価資料

出席状況、授業中の観察、提出物、忘れ物、制作進度、アイデアスケッチ、学習プリント

作品、クロッキー帳、鑑賞プリント、ファイル等

## 【使用教材等】

<教材費より購入させていただくもの>

クロッキーブック（400円程度）

バッグ（クロッキーブック等の道具を入れる・400円程度）

実習材料費（2000円程度）ファイル（300円程度）

<直接購入させていただくもの>

4月頃業者の方が販売します。朝、生徒の皆さんに購入していただきます。

アクリル絵の具（2000円程度）詳細は後日別プリントでお知らせします。

<その他>

作品によっては、ご家庭から材料を持ってきていただくこともあります。材料集めも学習の一つです。

## 【学習の予定】

月	題材名	学習内容
4	オリエンテーション（あなたらしさを見つけて）	1年間の学習の目標や内容を理解する。 授業の進め方を知り、美術を楽しもうとする態度を持つ。
5	文字っておもしろい～デザインの世界～	レタリングの基本を学び、美術バッグにステンシルでインシヤルを書く。 ・田中一光の作品鑑賞 ・文字のシグネチャー的役割
6	見つめると見えてくるもの	静物画と自画像を描く。 ・セザンヌの絵画鑑賞 ・構図・デッサン ・水彩画の技法 ・立体感（光と影） ・混色技法
7 9	なぜか気になる情景～光のある場所～	鑑賞の視点身近な風景の中によさや美しさを感じ取り、主体的に表現する。 ・モネの作品鑑賞 ・光の美しさを感じ取る ・遠近法夏休みの宿題
10 11 12	材料に命を吹き込む～生き生きとした立体に表す～	初めて扱う素材や道具を使って立体に表現する。 ・立体作品鑑賞 ・造形活動の基礎として、立体表現の楽しさを味わう。
1	多様な表現を味わう～画家から学ぶ思いの伝え方～	キュビズムという美術運動について理解することができる。
2 3	絵の具の表現に挑戦	1つ1つの技法の特徴を学び、発想を広げて今後の作品に生かすようにする。 ・材料や用具の特性と多様な技法（ドリップング、デカコマニー、マーブリングなど） ・技法を使ったデザインをする。現実にはない世界を絵画表現する ・色の学習 ・具象画と抽象画

【保健体育って何？】

人はなぜ運動するのでしょうか。運動にはどんな効果があるのでしょうか。また、体力や運動技能を高めるには、どんな運動・練習を、どのように行ったらよいのでしょうか。このようなことを頭において、いろいろな運動をおこないます。器械運動、陸上競技、水泳、球技、柔道、ダンス、個人の種目、集団の種目とありますが、それぞれに魅力のある運動ですので自分の体力や技能を高めるために、また、仲間と協力する、認め合うことなども学んでください。

また、保健では、中学生期が心も体も著しく生長・発達するときであることをふまえ、心や体が健やかに育つための正しい知識を身に付けるための学習をします。

【こんな力がつきます】

- ① それぞれの運動の特性を理解し、運動の楽しさを味わい、体力や技能を高めます。
- ② 自己の能力に応じた目標を設定し、課題を解決するという考え方が育ちます。
- ③ 健康や安全について理解し、調和のとれた心身の発育、発達を目指す力を高めます。

【こんな方法で評価します】

保健体育は「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA、B、Cの3段階で評価します。

そして、3つの観点のA、B、Cを基礎に、5段階の評定をします。

	十分に満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	評定
「知識及び技能」	A	B	C	5
「思考力、判断力、表現力等」	A	B	C	4
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	3
				2
				1

◎ 知識及び技能

知識・技能の評価は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたりして活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

◎ 思考力・判断力・表現力等




思考・判断・表現の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

◎ 主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

※ 授業で使用する「はちまき」は、最初の授業時に配布します。  
その後、紛失した場合は「各自購入」となります。



学期	学習すること	学習のポイント
一学期	<p>◎体育理論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の約束事の確認</li> <li>・集団行動、準備運動の仕方など</li> </ul> <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動</li> <li>・体力を高めるための運動</li> </ul> <p>◎新体力テスト</p> <p>◎陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・走り幅跳び、ハードル走</li> </ul> <p>◎器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動、跳び箱運動</li> </ul> <p>◎水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール、平泳ぎ</li> </ul>  <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と疾病の予防 ア・イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性について学ぶ。</li> <li>・準備運動の仕方(集団走、体操)を覚える。</li> <li>・授業時の服装、持ち物、見学等の約束を理解する。</li> <li>・運動の特性に応じた学び方や安全の確保の仕方を理解する。</li> <li>・柔らかさや、巧みな動きを高める。</li> <li>・一人一人が「目標をもつ」、「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。</li> <li>・ポイントや方法を知る。</li> <li>・助走、空中姿勢、着地の流れ、インターバルの走り方、空中姿勢</li> <li>・正しい計測や仕方のルールを知る。</li> <li>・回転系、倒立系バランス系の技に挑戦する。</li> <li>・連続技を発表する。</li> <li>・切り返し系、回転系の技に挑戦する。</li> <li>・クロールや平泳ぎの正しいフォーム、呼吸法を知る。</li> <li>・事故防止の心得や安全な行動に仕方を学ぶ。</li> <li>・健康の成り立ちと疾病の発生要因</li> <li>・生活習慣と健康</li> </ul>
二学期	<p>◎体育理論</p> <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力強い動きを高める運動</li> </ul> <p>◎体育祭</p> <p>◎球技 I</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球 ・ソフトボール</li> </ul>  <p>◎陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走</li> </ul> <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の機能の発達と心の健康 ア・イ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性について学ぶ。</li> <li>・個人またはペアで自分にあった運動を選び、用具を利用・工夫して取り組む。</li> <li>・仲間と積極的に関わり合い取り組む。</li> <li>・作戦を生かした攻防を展開しゲームを行う。</li> <li>・ルールを理解し、個人・集団技能を高める。</li> <li>・自己の能力にあった安定したペースで長く走ることに取り組む。</li> <li>・身体機能の発達</li> <li>・生殖に関わる機能の成熟</li> </ul>
三学期	<p>◎体育理論</p> <p>◎武道(柔道)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼法、基本動作、受け身等</li> </ul> <p>◎ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フォークダンス、創作ダンス、現代的なリズムのダンス</li> </ul> <p>◎球技 II</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ハンドボール</li> <li>・バスケットボール</li> </ul>  <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心身の機能の発達と心の健康</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの多様性について学ぶ。</li> <li>・礼儀作法を学び、基本動作を身に付ける。</li> <li>・相手を尊重する態度を育てる。</li> <li>・恥ずかしがらずに思いきり体を動かし、表現する。</li> <li>・パス、ドリブル、シュートなど自分の能力にあわせて練習し、チームとしての作戦を立ててゲームを行う。</li> <li>・精神機能の発達と自己形成</li> <li>・欲求やストレスへの対処と心の健康</li> </ul>

# 技術・家庭科（技術分野）シラバス

# 1 学年

## □技術・家庭科（技術分野）の学習とは…

技術分野の学習は、科学技術や情報化が進展する社会において、一般国民として技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することをねらいとしています。ものづくりなどの活動を通して、加工、生物、エネルギー、情報などの知識や技術を習得しながら、技術と社会や環境とのかかわりについて考えていきます。

1年生では、材料と加工の技術の学習を行います。材料と加工の技術では、使用目的や条件等を踏まえ「技術の見方・考え方」を働かせながら生活の中の課題を解決するための木製品の製作を行います。切断や切削など基本的な加工方法も学びながら、技術による問題解決法について理解を深めていきます。

## □技術分野の学習で身に付く力は…

学習を通して、「材料と加工の技術」が社会や環境に果たしている役割と影響について理解し、今後、よりよい社会を築いていくために、これらの技術をどのように活用していけばよいのかを考える能力と態度が育成されます。また、勤労観や職業観、問題解決能力なども合わせて醸成され、これからの社会で主体的に「生きる力」が身に付きます。

## □評価の観点と評価方法

技術分野の学習は次の3つの観点（通知票に記載）をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点をABCをもとに5段階の評価をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	→ 5 4 3 2 1
知識・技能	A	B	C	
思考・判断・表現	A	B	C	
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	

観点	観点を説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	設計図・工具や機器の使用状況・制作品、定期テストの得点 等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	ワークシート・レポートの内容、定期テストの得点 等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	ワークシート・レポートの内容や授業での発言内容 等

## 【使用教材等】

木材等材料費がかかります。



【学習の予定】

1年生の技術分野の授業は10月から始まります。内容は次の通りです。

月	題材名	学習内容
10		
11		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイダンス</li> <li>○社会における材料と加工の技術</li> <li>○技術による問題解決の工夫</li> </ul>
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ものづくりの進め方と木材の特徴</li> <li>○材料の特徴</li> <li>○製品の使用目的と機能・構造</li> </ul>
1	材料を加工し、身近な生活の問題を解決しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題の発見と課題の設定、設計・計画</li> <li>○構想した製品の検討・再設計</li> <li>○製図・材料取り図</li> <li>○3DCAD設計</li> </ul>
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○材料取り                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・けがき</li> <li>・切断</li> </ul> </li> </ul>
1		<ul style="list-style-type: none"> <li>○部品加工                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・部品の検査と修正</li> <li>・切削と穴あけ</li> <li>・仮組立て、けがき、くぎ接合</li> <li>・組立ての検査と修正</li> </ul> </li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○仕上げ</li> <li>○問題解決の振り返り</li> </ul>
2		<ul style="list-style-type: none"> <li>○これからの材料と加工の技術について</li> </ul>
3		

◎ 3学期の学年末テストのときに定期テストを1回実施します。

# 技術・家庭科（家庭分野）シラバス 1 学年

## □技術・家庭科（家庭分野）の学習とは…

技術・家庭科は『学んだことを生活に活かすことを目標に、将来の自分を思い描きながら学習する教科』です。

1 年生では、主に衣生活・住生活・消費生活について行います。衣生活では、衣服のはたらきや既製の表示、手入れの方法などを学び、衣服の適切な管理ができるようになることを目指します。また、被服の補修などで使われる基本的な縫い方を利用して作品を制作します。住生活では、住まいのはたらきについて学び、快適で安全に暮らすための工夫を考え、実践できる態度を身につけます。消費生活では、中学生に身近な販売方法を学び、消費者の権利と責任を考えた消費行動ができるようになることを目指します。

## □家庭分野の学習で身に付く力は…

健康・快適・安全で豊かな衣生活・住生活に向けて考え、衣服の適切な選択や着用、日常着の手入れ、製作に関する知識及び技能、住居の基本的な機能、家族の安全を考えた住空間の整え方に関する知識及び技能が身に付きます。さらに身近な消費生活については、金銭管理や消費者被害について工夫し創造しようとする実践的な態度を身に付けていきます。

## □評価の観点と評価方法

家庭分野は、次の 3 つの観点（通知票に記載）を、ABC の 3 段階で評価します。そして、3 つの観点の ABC を基礎に、5 段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5
思考・判断・表現	A	B	C	4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	3
				2
				1

観点	観点の説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	定期テストの得点、授業プリントの内容、被服技術、調理技術、発表内容等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	発言内容、提出物の内容、発表内容、授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、被服技術等

### 【学習の予定】

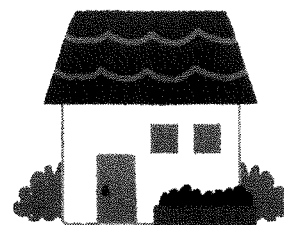
1 年生の家庭科の授業は 4 月中から 10 月中旬（2 学期中間テスト）までの前期です。以下が、学習の流れの目安です。

- 4 月 家庭科のオリエンテーション  
被服製作・実習
- 5 月 衣服のはたらき・既製の表示と手入れの方法
- 6 月 ミシン縫いを活用した被服制作

- 7 月 様々な販売方法
- 9 月 住まいのはたらき、防災
- 10 月 2 学期中間テスト

### 【使用教材等】

被服実習材料費がかかります。



## 外国語科シラバス第1学年

### <なぜ英語を勉強するの?>

グローバル時代の今、全世界で英語を話す人は約20億人います(母国語だけでなく、第2言語として使っている人を含める)。こうした事実からもわかるように国際社会で最も使用されている言葉は英語です。今や国を代表する人や企業のリーダーも、スポーツ選手も、世界で活躍している人の多くが英語を使っていますね。海外旅行や海外出張もめずらしくない時代になっています。訪日外国人の数も年々増加し、今後私たちに求められることはそうした方々と手を取り合って共生(互いを尊重し、共に生きる)の態度だといえます。そこで大切なことは、「日本人だから日本語だけであれば良い」という考えではなく、自分の思いや考えを「外国語(英語)」でも積極的に伝えていく態度です。積極的に自分の考えを発信していきましょう。

### <評価規準について>

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。		
読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。		
話すこと(やりとり)	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。		
話すこと(発表)	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。		
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。		

### <家庭学習ではどんなことをするの?>

☆予習(授業の前日):次の日に学習する単語の意味を調べノートに書く。

☆復習(授業の当日):その日に学習した単語や文を書いて覚える。

☆その他:授業で指示が出ることもあります。

### <第1学年の目標>

英語の音声や文字になれ、英語を使って、自分のことや身のまわりのことについて対話ができる。

<英語の評価>

表の4つの観点から、A:十分に満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する、の3段階で評価します。このA、B、Cをもとに5段階の評定が行われます。

	聞くこと	読むこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	・定期テスト	・音読テスト ・定期テスト	・ALTとの会話	・スピーチ活動	・定期テスト ・小テスト
思考・判断・ 表現	・定期テスト ・ALTとの会話	・音読テスト ・定期テスト	・スキット ・ALTとの会話	・スピーチ活動	・英作文 ・定期テスト
主体的に学習 に取り組む態 度	・会話テスト ・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・授業中の音読	・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・スピーチ活動 ・ワークシート ・授業中の挙手 発言	・ノート・ワーク ・ワークシート ・自己評価

<学習計画>

学期	月	題材	文型・文法	目標
1 学期	4	Get Ready  Program 0	I like / I can / When/ Where の疑問文 アルファベットの文字と音 フォニックス	小学校で学んだことを復習する。  英語らしい音声で発音できる。
	5	Program 1 友達を見つけよう Program 2 I-Bの生徒たち	be動詞の肯定文・疑問文・否定文 一般動詞の肯定文・疑問文・否定文	自己紹介を通じて自分のことを相手に伝えることができる。 自分の好きなものや嫌いなもの等伝えることができる。相手の好きなものを尋ねることができる。
	6	アクションコーナー  Program3 タレントショーを開こう	命令文  canの肯定文・疑問文・否定文	英語で相手に簡単な指示を出すことができる。 自分のできることやできないことを相手に伝えることができる。相手にできることを尋ねることができる。
	7	あなたの知らない私  ハンバーガーショップへ行こう	復習活動  依頼表現 (Can I have?) 量を尋ねる表現(How much?)	スピーチを通じて自分自身のことを伝えることができる。 スキットづくりを通じて買い物での表現を使って基礎的な会話を行うことができる。
2 学期	8 9	Program 4 Let's enjoy Japanese culture Program5 Junior Safety patrol	this/thatの用法およびwho を用いた疑問文  三人称単数現在の肯定文・疑問文・否定文	近くのものや遠くのことを説明することができる。自分の知らない人や初めて会う人について尋ねることができる。 自分や相手以外の人がすることやしないことについて説明できる。

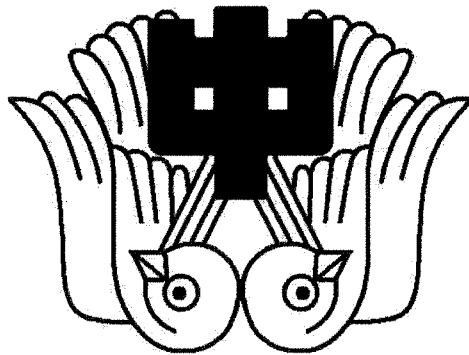
	10	Program 6 The way to school 道案内をしよう	代名詞人称変化およびWhyの 疑問文とその応答 Turn right / left. など	理由を尋ねることができる。理由を答えることができる。 スキットづくりを通じて、基礎的な道案内をすることができる。
	11	Program 7 Research on Australia	There is /are の文 How を用いた疑問文	物の位置関係、どこに何があるのか説明できる。手段を尋ねることができる。
	12	この人を知っていますか Program 8 The year end event	これまでの復習 現在進行形の肯定文・疑問文・否定文	スピーチを通じて他者紹介ができる 今していることについて説明し、尋ねることができる。
3 学 期	1	Program 9 Trip to Finland	一般動詞の過去形の肯定文・ 疑問文・否定文	今より前に起こった出来事について説明し、尋ねることができる。
	2	Program 10 Great Baba's warming Ideas	be動詞の過去形と過去進行形 の肯定文・疑問文・否定文	過去のある時点で行っていたことについて説明し、尋ねることができる。
	3	私が選んだ1枚	これまでの復習	スピーチを通じて、自分が過去におこなったことを伝えることができる。

令和 6 年度



2 学年

シラバス



上尾市立上尾中学校

# 国語科シラバス

2 学年

## 【国語って何？】

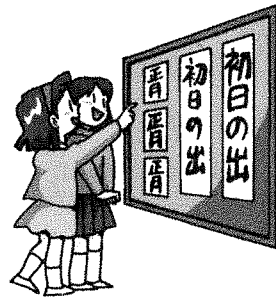
- (1) 自分で自分の言葉の力を高めるための教科。
- (2) 言葉を学びながら、美しいものを味わい、人間の真実の姿を知り、人間や社会のあり方について考える教科。
- (3) 授業で学んだ言葉の力が自分の生活に生かされ、生活で学んだ言葉の力（読書、生徒会活動等）が授業に生かされる教科。

## 【言葉の力とは？】

- (1) 自分の意見や考えをはっきりと主張でき、自分のことを相手によく分かってもらったり、相手の心を動かしたりできる力。話す力。
- (2) 文学作品に表わされた美を味わい、人間や人生の奥深い姿を知る力。文学を読む力。
- (3) 自然科学や社会科学など、あらゆる分野の情報を取り入れる力。説明文を読む力。
- (4) 自分の意見や考えを誰にでも分かるように書き、相手の心を動かす力。書く力。

## 【言葉の力を身に付けるには？】

- (1) 読書をする。
- (2) 課題や先生の質問に対し、自分で考える。
- (3) 授業中に発言する。
- (4) 声を出して教材文を読む。
- (5) 書きたいと思うことをたくさん書く。
- (6) 正しい漢字、正しい言葉づかいを普段から意識する。
- (7) 漢字は字の意味も覚える。
- (8) 進んで学習する。(何よりもやる気が大切です。)



## 【こんな方法で評価します。】

国語は次の3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を、A（十分満足できる）B（おおむね満足）C（努力を要する）の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基に5段階の評定をします。

\*分かりやすく説明すると、こんな人が「A」になります。

観点	
知識・技能	テストで知識を問う問題（漢字・文法・語句）の理解度が高い。 言葉の決まりを理解して正しく文章が書くことができる。 文字を丁寧に書くことができる。
思考・判断・表現	テストで理解を問う問題の理解度が高い。 文章を正確に早く読み取れる。 話を正しく聞き、理解できる。スピーチや話し合い活動で考えを他者に伝えられる。 感想や考え、意見などが根拠を持ってわかりやすく書ける。書くことの学習（創作）でよい作品ができる。
主体的に学習に取り組む態度	授業、学習に対して粘り強く取り組み、学力の向上を図ろうとしている。 宿題や提出物をきちんと充実した内容で提出できる。 ノートをきちんと整理し、進んで学ぼうとする。 しっかりと話を聞き、進んで発表する。話し合い活動に積極的に参加する。

## 【使用教材等】

教科書、ノート、ワーク（教科書、漢字、文法等）、国語辞典（各自必ず用意してください）

【学習の予定】

月	学習すること	学習のポイント
4	<p>【広がる学びへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見えないだけ</li> <li>・アイズプラネット</li> <li>・問いを立てながら聞く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「話す・聞く」の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことをはっきりさせる。</li> <li>・5W1Hを意識する。</li> <li>・聞き取りやすい話し方を心がける。 (声の大きさ・速さ・発音・間の取り方・抑揚)</li> </ul> </li> <li>○説明文の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・筋道に沿って文章の要旨をとらえる。</li> <li>・指示語や接続語に注意する。</li> <li>・文章の構成に着目して読む。 (問題提起・問題解明・結論)</li> <li>・筆者の主張を読み取る。</li> </ul> </li> </ul>
5	<p>【広がる学びへ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・枕草子</li> <li>・情報整理のレッスン 思考の視覚化</li> <li>・多様な方法で情報を集めよう</li> <li>・漢字①熟語の構成</li> <li>・漢字に親しもう 1</li> </ul> <p>【多様な視点から】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クマゼミ増加の原因を探る</li> <li>・思考のレッスン 具体と抽象</li> <li>・魅力的な提案をしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○詩や短歌の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の技巧に注意して、美しさや感動を読み味わう。 (比喩・擬人法・倒置法など)</li> <li>・繰り返し音読することによって、イメージを広げ、味わいを深める。(暗唱も)</li> <li>・作者についての知識を持つ。</li> </ul> </li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字に親しもう 2</li> <li>・文法の広場①単語の分け方</li> <li>・書写(硬筆展に向けて)</li> </ul> <p>【情報社会を生きる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・メディアを比べよう</li> <li>・メディアの特徴を生かして情報を集めよう</li> </ul> <p>【言葉と向き合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・短歌に親しむ ・短歌を味わう</li> <li>・言葉の力</li> </ul>	
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・類義語・対義語・多義語</li> </ul> <p>【読書生活を豊かに】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読書を楽しむ ・翻訳作品を読み比べよう</li> <li>・読書コラム「わからないは人生の宝物」</li> </ul>	
8	<p>【人間のきずな】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・盆土産</li> <li>・字のない葉書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小説や随筆の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の情景や、人物の心情をとらえる。</li> <li>・展開に即してあらすじをとらえ、主題について考える。</li> <li>・表現の特徴に注意して文章を読み味わう。</li> </ul> </li> </ul>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き上手になろう</li> <li>・表現を工夫して書こう</li> <li>・言語②敬語</li> </ul>	
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ音・同じ訓を持つ漢字</li> <li>・漢字に親しもう 3</li> </ul> <p>【論理を捉えて】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モアイは語る</li> <li>・思考のレッスン 根拠の吟味</li> <li>・根拠の大切さを考えて書こう</li> <li>・漢字に親しもう 4</li> <li>・立場を尊重して話し合おう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古典の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り返し音読することで、文体やリズムに慣れる。</li> <li>・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直せるようにする。</li> <li>・省略された主語や助詞を補って読む。</li> <li>・古人のものの見方や考え方に注目して、自分の意見を持つ。</li> <li>・歴史上の事実やエピソードとからめて読み味わう。</li> <li>・好きな部分は暗唱できるようにする。</li> </ul> </li> <li>○二年生で学習する文法</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読を楽しもう 「月夜の浜辺」</li> </ul> <p>【いにしへの心を訪ねる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・扇の的ー「平家物語」から</li> <li>・仁和寺にある法師ー「徒然草」</li> <li>・漢詩の風景</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>名詞・副詞・連体詞・接続詞・感動詞・動詞・ 形容詞・形容動詞 (3学期に助詞・助動詞)</p> </div>
12	<p>【論理をとらえる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・君は「最後の晚餐」を知っているか</li> <li>・魅力を効果的に伝えよう 鑑賞文を書く</li> <li>・文法2 走る。走らない。走ろうよ。</li> <li>・漢字に親しもう 5</li> <li>・魅力を効果的に伝えよう</li> <li>・書写(書き初め)</li> </ul> <p>【読書に親しむ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究の現場にようこそ</li> <li>・クモの糸でバイオリン</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「書くこと」の学習で大切なこと <ul style="list-style-type: none"> <li>・集めた情報の中から必要なものを選び、構成を考える。</li> <li>・文章の形態(感想文・紹介文・意見文・取材文)に合わせた表現の仕方を工夫する。</li> <li>・伝えたいことをはっきりさせて書く。</li> <li>・文末表現を統一する。(常体か敬体)</li> <li>・主述の不一致や文脈の乱れに注意する。</li> </ul> </li> </ul>
1	<p>【表現を見つめる】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・走れメロス</li> <li>・漢字に親しもう 6</li> <li>・文法3 一字違いで大違い</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○漢字・語句の学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出漢字は、そのつど確実に覚える。</li> <li>・語句の意味を文脈の中でとらえられるようにする。 (辞書で確認)</li> </ul> </li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成や展開を工夫して書こう</li> <li>・「ある日の自分」の物語を書く</li> <li>・話し言葉と書き言葉</li> <li>・漢字3 送り仮名</li> </ul>	
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語の学びを振り返ろう</li> <li>・木(詩)</li> </ul>	



## 【社会科って何？】

1年生では「地理」と「歴史」をそれぞれ半分ずつ学習してきました。2年生では、「地理」「歴史」分野のそれぞれ後半を学習します(歴史・「2つの世界大戦」以降は3年生で学習)。地理では、「日本の諸地域」を中心に行い、地域の特色を学んだり、諸資料をもとに調査したりまとめたりします。歴史では、「近世の日本」から「日清・日露戦争」までについて学習します。映像教材(写真やビデオ)なども利用して学習を進めていきます。

## 【社会科を学習するとこんな力がつきます】

- \*日本や世界の地理と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解するとともに、各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表などにまとめる力
- \*社会的事象から、問題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえ公正に判断するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する力
- \*社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、民主的で平和な国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとする力

## 【こんな方法で評価します】

社会科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	評定
「知識・技能」	A	B	C	5
「思考・判断・表現」	A	B	C	4
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	3
				2
				1

## 【それぞれの観点は次のような方法で評価します。】

観点	評価方法	評価のめあて
知識・技能	学習ノート、レポート 発言、発表 その他提出物	日本の国土と歴史、日本と関わりの深い世界の歴史等について理解することができる。 年表、地図、統計など様々な資料から情報を読み取り、気づいたことをまとめることができる。

思考・判断 ・表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	様々な社会的事象の特色やかかわり、変容の理由を、多面的 ・多角的に考察し、表現することができる。 課題の解決に向けて自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。
主体的に学 習に取り組 む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	積極的に授業に取り組み、学習に対する見通しを持って、課 題を主体的に追究することができる。

### 【学習の予定】

	月	学習すること	学習のねらい
1 学 期	4	「世界から見た日本のすがた」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「地域間の結びつき」の4つの観点から、日本の国土の特色を大観する。</li> <li>・九州、中国・四国、近畿、中部、関東、東北、北海道地方の自然環境や、人口、産業などの特色について基礎的・基本的知識を身に付ける。</li> </ul>
	5 6 7	「日本の諸地域」	
	8 9 10 11	「身近な地域の調査」	
2 学 期	12	「近世の日本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や写真、統計などの資料を通して、地域の特色や課題、変化の様子を読み取り、その結果を発表できる。</li> <li>・縮尺、方位、等高線、地図記号など地形図の読み取り方を身につける。</li> <li>・織田、豊臣、江戸幕府の政治や諸政策を理解し、社会のしくみや経済の変化について学び考察する。</li> <li>・江戸時代の産業の発達に関心を高め、改革について理解することができる。</li> </ul>
	1 2 3	「開国と近代日本の歩み」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明治維新の特色を考え、近代国家の基礎が整えられ人々の生活が変化したことを理解する。</li> <li>・開国から明治維新を経て近代国家を形成していく過程を理解する。</li> <li>・日本と大陸との関係のあらましを、日清・日露戦争、条約改正を通して理解する。</li> </ul>
3 学 期			

【使用教材】教科書・資料集・ノート・地図帳・社会科復習プリント

\* 年度により若干変更もあります



＜第2学年の生徒・保護者の皆様へ＞

本年度、第2学年数学の授業について御案内します。各自が、この1年間の学習目標を定めたり、学習計画を立てたりする上で十分に御活用ください。

【数学って何？】

基本的には算数の延長です。中学校ではさらに、数の概念、論理的な思考力を身に付けるための授業を展開していきます。

【こんな力がつきます。】

文字を使ってある事柄を式で表して考えていく力、物事を論理的に推論していく力が身に付きます。

【目標】 第2学年の数学の目標は、次のようになっています。

- A <数と式>
  - ・文字を用いた式について、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに連立二元一次方程式について理解し、それを用いる能力を養う。
- B <図形>
  - ・平面図形の性質について、平行線の性質や三角形の合同などを基にして理解し、数学的な推論の意義と方法とを理解し、推論の過程を的確に表現する能力を養う。
- C <関数>
  - ・一次関数について理解するとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を養う。
- D <データの活用>
  - ・具体的な事象についての観察や実験を通して、確率やデータの活用の考え方の基礎を培う。

【こんな方法で評価します。】

＜評価の観点＞



①知識・技能

連立方程式、1次関数、図形の合同、確率などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、処理する方法を身に付けている。

②思考・判断・表現

既に学習したことと関連付けて、計算の方法を考察し表現することができる。また、事象を具体的な場面で活用したり、解決方法が適切であるか判断したり、説明したりすることができる。

③主体的に学習に取り組む態度

さまざまな事象を数学的にとらえたり、考えたりしようとし、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。また、問題解決の過程を振り返って、評価改善しようとしている。

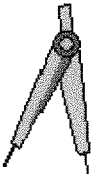
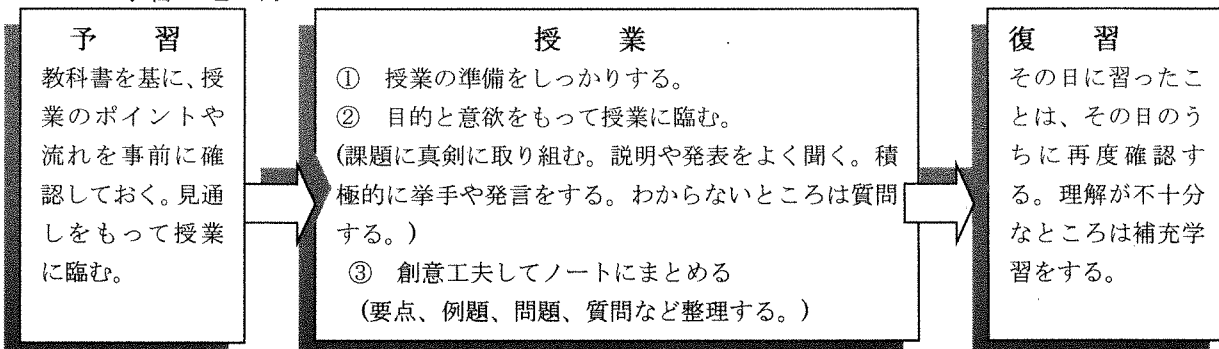
＜評価の方法＞

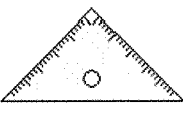
毎時間の授業への取組、定期試験の結果、授業のノートや提出物の内容を基にして、3つの観点のそれぞれを十分満足できる…A、おおむね満足…B、努力を要する…Cの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に総合的に評価し、5段階の評定をします。

＜使用教材＞

- ・教科書
- ・プリント…問題解決的な練習問題や観察・操作・実験などに使うものなど。
- ・ワークブック…基礎・基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集。

＜学習の進め方＞



学期	月	学習の内容	学習のねらい
1 学期		オリエンテーション	数学の授業の目標、内容、評価などを知る。
	4月	1章 文字式を使って説明しよう【式の計算】 ・単項式、多項式、項の意味 ・多項式の加減と数との乗除 ・多項式のいろいろな計算	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単項式と多項式の意味を理解する。</li> <li>・簡単な整式の加減の計算ができる。</li> <li>・乗法、除法、乗除の混じった計算ができる。</li> <li>・文字式を用いて、関係や法則を一般的にしかも簡潔に表現できる。</li> <li>・等式の性質を用いて、目的に応じて変形できる。</li> </ul>
	5月	・乗法、除法、乗除の混じった計算 ・式による説明、等式の変形	
	6月	2章 方程式を利用して問題を解決しよう【連立方程式】 ・連立2元1次方程式とその解の意味 ・連立方程式の解き方 ・かっこや小数、分数を含む連立方程式の解き方 ・連立方程式の応用問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連立2元1次方程式とその解の意味を理解する。</li> <li>・加減法、代入によって連立方程式が解ける。</li> <li>・複雑な形の連立方程式の解法が理解できる。</li> <li>・問題解決のために連立方程式を活用することができる。</li> </ul>
7月	3章 関数を利用して問題を解決しよう【1次関数】 ・1次関数の意味 ・変化の割合、切片の意味	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数 <math>y=ax+b</math> の形で表される関数関係について考察する。</li> <li>・1次関数 <math>y=ax+b</math> の変化の割合について理解する。</li> </ul>	
2 学期	8月	・傾き、切片を利用したグラフの書き方	・1次関数 $y=ax+b$ のグラフの特徴について考察する。
	9月	・xの変域とyの変域の対応 ・いろいろな条件から1次関数の式を求める ・方程式とグラフの関係 ・連立方程式の解からグラフの交点を求めたり、逆にグラフの交点から連立方程式の解を求めたりする	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1次関数におけるxの変域とyの変域の対応のさせ方を理解する。</li> <li>・いろいろな条件をみたく1次関数を求めることができる。</li> <li>・2元1次方程式のグラフが書ける。</li> <li>・関数のグラフを利用して、連立方程式が解けたり、その逆ができる。</li> </ul>
	10月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身に付ける。
	11月	4章 図形の性質の調べ方を考えよう【平行と合同】 ・多角形の内角の和と外角の意味とそれぞれの和 ・合同な図形の性質 ・三角形の合同条件とその使い方 ・証明のしくみ及び仮定、結論の理解 ・重要な基本の性質の理解	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多角形の内角や外角の和の説明ができ、その性質を理解する。</li> <li>・対頂角の性質や平行線の性質、平行線になるための条件などを理解し、それを利用できる。</li> <li>・合同な図形の性質と三角形の合同条件を理解し、それを証明の根拠として使えるようになる。</li> <li>・証明のしくみが理解でき、合同条件を使って、簡単な証明ができる。</li> </ul>
	12月	5章 図形の性質を見つけて証明しよう【三角形と四角形】 ・定義と定理の意味、二等辺三角形の定義と性質、その定理 ・正三角形の定義と性質、その定理 ・定理の逆と二等辺三角形になるための条件 ・直角三角形の合同条件とその適用 ・平行四辺形の定義、対辺と対角 ・平行四辺形の性質とその適用 ・平行四辺形になるための条件とその適用 ・長方形、ひし形、正方形の性質と、それらになるための条件とその適用 ・平行線間の距離と等積変形	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二等辺三角形の性質が証明できる。</li> <li>・正三角形の性質を知り、証明ができる。</li> <li>・二等辺三角形になるための条件を理解する。</li> <li>・定理の逆の意味を理解する。</li> <li>・直角三角形の合同条件を理解し、それを用いることができる。</li> <li>・平行四辺形の性質を理解し、それを用いることができる。</li> <li>・四角形が平行四辺形になる条件を理解し、それを用いることができる。</li> <li>・長方形、ひし形、正方形の定義を知り、これらが平行四辺形の特別な場合と見ることが出来る。</li> <li>・面積を変えないで、図形の形を変えることができる。</li> </ul>
3 学期	1月	問題演習	・数学的な見方や考え方を身につける。
	2月	6章 起こりやすさをとらえて説明しよう【確率】 ・確率の考え方 ・確率の求め方 ・いろいろな確率の求め方 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確率の意味が理解できる</li> <li>・簡単な場合について確率を求めることができる。</li> <li>・いろいろな方法で確率を求めようとする。</li> <li>・いろいろな場合で確率を求めることができる。</li> </ul>
	3月	7章 データを比較して判断しよう【データの比較】 ・四分位分布と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・複数のデータの分布を比較することができる。</li> <li>・箱ひげ図を用いて、データの分布の傾向を比較し判断することができる。</li> </ul>
		問題演習	・数学的な見方や考え方を身につける。
		まとめの問題 ・一年間の総復習問題	・一年間の総復習問題をやることで再度、理解を深める。

【使用教材等】

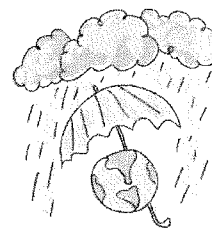
ワーク、プリント教材等を教材費より購入させていただきます。

# 理科シラバス

2学年

## 【理科って何?】

私たちの身近な自然や現象をじっと観察してみましょう。不思議だなと思うことがたくさんありませんか。自然の中には思いがけないつながりや規則性があります。理科は、そんな自然現象の不思議を見付け、なぜそのようなことがおこるのか、実験や観察を行い、その結果をもとに自然の特徴や規則性を見付け出していく勉強です。そのために、中学校の理科の授業では、基本的な知識を土台として、好奇心（興味や関心）をもってじっくりと自然現象と向き合う姿勢、正しい実験操作技術、結果を分かりやすくまとめる力、そして、結果からいえることを筋道を立てて考える力を付けていきます。



## 【こんな力がつきます。】

- 1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けます。（知識・技能）
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。（思考・判断・表現）
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養います。（主体的に学習に取り組む態度）



## 【こんな方法で評価します。】

理科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

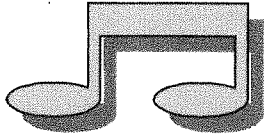
	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	
「知識・技能」	A	B	C	評定 5 4 3 2 1
「思考・判断・表現」	A	B	C	
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	

それぞれの観点は次のような方法で評価します。

観点	評価方法	評価のめあて
知識 技能	定期テスト、小テスト 学習ノート、レポート 技能テスト、制作物	基礎的な理科の知識、考え方を身に付けている。 安全、正確に実験を行うことができる。 実験結果を分かりやすくまとめることができる。 実験結果を正確にグラフ、表に表すことができる。 観察結果を細部までスケッチすることができる。
思考 判断 表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言および発言の発想	実験、観察の目的を踏まえて、結果をもとに筋道を立てて考察することができる。 自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。 計算の問題を解くことができる。
主体的に 学習に取り 組む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート レポート、提出物	進んで事物・現象に関わることができる。 見通しをもったり、振り返りを行ったり、科学的に探究することができる。 提出物の内容を評価する。

【学習の予定】

月	単元	学習内容
4	<u>単元1 化学変化と原子・分子</u> 1章 化学変化と物質の成り立ち	化学変化とは何か 物質をつくる小さな粒子 化学変化を表す方法
5	2章 いろいろな化学変化	カルメ焼きが膨らむわけ 物質が結びつく化学変化 酸素が結びつく化学変化 酸素を取り除く化学変化 化学変化と熱
6	3章 化学変化と物質の質量	化学変化の前後の質量 反応する物質どうしの質量の割合
	<u>単元2 生物の体のつくりとはたらき</u> 1章 生物の細胞と個体	生物の体をつくるもの
7	2章 生物の体のつくりとはたらき	葉のつくり 光合成と葉のつくり 光合成と呼吸の関係 蒸散と吸水の関係
8		茎や根のつくりとはたらき
9	3章 動物の体のつくりとはたらき	ヒトの呼吸系 栄養分を取り入れる仕組み～消化系 エネルギーを取り出す仕組み～呼吸系 栄養分や酸素を運ぶ仕組み～循環系 不要な物質を排出する仕組み～排出系 人以外の動物の体のつくり 情報を受け取る仕組み 情報から判断する仕組み 判断から行動する仕組み
10		
11		
11	<u>単元4 電気の世界</u> 1章 電流と電圧	電流が流れる道筋 回路の中の電流・電圧 電圧と電流の関係 いろいろな回路 熱と電気エネルギー
12	2章 電流と磁界	磁石と電磁石 電流がつくる磁界 電流が磁界から受ける力 電流をつくり出す 電流の種類
1		3章 静電気と電流
2	<u>単元3 気象とその変化</u> 1章 気象の観測	気象要素とは何か 気象観測をしよう
	2章 空気中の水の変化	霧や雲が発生するとき 循環する水
3	3章 低気圧と天気の変化 気象要素の変化と空気中の水蒸気	天気のリズム 前線と天気の変化
	4章 日本の気象	天気の動き 日本の天気の特徴 天気の変化の予測
	5章 大気の躍動と恵み	雨や雪、風が人間生活を襲うとき 雨や雪、風と人間の豊かな生活



# 音楽科シラバス

2 学年

## 【(音楽)って何?】

○ 授業では歌唱、器楽、鑑賞、創作に取り組みます。

歌唱では、斉唱や合唱を中心に、器楽ではアルトリコーダー演奏を中心に、鑑賞では幅広い音楽に触れ、創作では簡単な旋律づくりを行います。そして、それらの活動を通じて、基礎的な知識や技能、表現力や感性を高め、豊かな情操を養います。

## 【こんな力がつきます。】

- 1 音楽の興味・関心を高め、生活を明るく豊かなものにすることができます。
- 2 音楽の持つ美しさや豊かさを感じたり、基礎的な知識・技能を身に付けたりすることによって、より豊かで創造的な音楽表現ができるようになります。
- 3 幅広い音楽活動を通して、心豊かに音楽を鑑賞することができます。

## 【こんな方法で評価します。】

音楽の教科は次の4つの観点(通知票に記載)を、ABCの3段階で評価します。そして、4つの観点のABCをもとにして5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5
思考・判断・表現	A	B	C	4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	3
				2
				1

## 評価の規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の構造や歌詞の内容について理解している。</li> <li>・曲や歌詞に応じた発声について理解している。</li> <li>・発音や姿勢など、歌うために必要な発声や、全体の響きに合わせて歌う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識や技能を生かして、表現を工夫している。</li> <li>・音楽を形づくっている要素をとらえ、雰囲気を感じとり、よさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽を楽しみながら、すすんで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

## 【学習の予定】

月	単元	学習内容
4 5	歌唱 「夢の世界を」 「翼をください」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れによって合唱する。</li> <li>・曲想を感じ取り、パートの役割を理解して合唱する。</li> </ul>
6	器楽 リコーダー 「ふるさと」 鑑賞 「フーガト短調」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルトリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現をする。</li> <li>・パイプオルガンの豊かな響きを感じ取る。</li> <li>・旋律が重なり合う音楽の形式を理解して鑑賞する。</li> </ul>
7	歌唱 「夏の思い出」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌う。</li> </ul>
8 9 10	合唱祭 クラス合唱曲 学年合唱曲 器楽 リコーダー 「威風堂々」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートの役割と全体の響きの関わりを理解し、豊かな響きになるように工夫して合唱する。</li> <li>・曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに合唱する。</li> <li>・アルトリコーダーの基礎的な奏法を理解し、曲にふさわしい表現をする。</li> </ul>
11	鑑賞 「交響曲第5番 ハ短調」 歌唱 「荒城の月」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の構成と曲想との関わりを理解して、その美しさを味わって鑑賞する。</li> <li>・オーケストラの豊かな響きを味わいながら聴き、根拠を持って批評するなどする。</li> <li>・歌詞の内容や旋律から、日本の持つ情緒を味わい、雰囲気を感じ取りながら歌う。</li> </ul>
12 1	鑑賞 オペラ「アイーダ」 器楽 三味線 「こきりこ」 「荒城の月」 鑑賞 郷土の祭りや芸能 器楽 リコーダー 「悲愴」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合芸術としてのオペラの特徴を、文化・歴史や他の芸術との関わりから理解して、親しみを持って鑑賞する。</li> <li>・オペラのよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評するなどする。</li> <li>・三味線の特徴をとらえ、基礎的な奏法を身に付けて演奏する。</li> <li>・三味線の響きや特徴を感じとり、情趣を味わって演奏する。</li> <li>・音楽の特徴、背景となる歴史との関わりを理解し、生活や社会における音楽の意味や役割について考えながら鑑賞する。</li> </ul>
2	鑑賞 歌舞伎「勧進帳」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合芸術としての歌舞伎の特徴を、文化・歴史や他の芸術との関わりから理解して、親しみを持って鑑賞する。</li> </ul>
3	歌唱 「サンタルチア」 卒業にむけての合唱曲 国歌「君が代」 「上尾中学校校歌」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌う。</li> <li>・曲想を生かして表情豊かに歌う。</li> <li>・パートの役割と全体の響きの関わりを理解し、豊かな響きになるように工夫して合唱する。</li> <li>・曲想を感じ取り、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに合唱する。</li> </ul>



# 美術科シラバス

2 学年

## 【美術って何？】

絵を描いたり、デザインをしたり、立体的な作品をつくったり、自分で使うことができるものを制作したりします。

作品の制作や鑑賞を通して、自分らしい表現ができるようになることを目標としています。

## 【美術は3つの観点を総合して5段階評価の評定をします】

知識・技能	思考・判断・能力	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</li> <li>造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</li> <li>材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</li> </ul>	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を見つめ形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> </ul>	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情をこめ、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</li> </ul>

3つの観点それぞれに

A（十分満足できる）、B（おおむね満足）、C（努力を要する）で評価します。

Aの評価は…Bに示した力をより発揮できたものがAになります。

Bの評価は…【丁寧に表現する力】【魅力的に見せるために複雑に表現する力】

【図工や美術の技能を活用する応用力】

【経験や他者の作品から学び、よりよい作品を作ろうとする姿】

【試行錯誤し、計画を立てうまくいかない時には修正を加える姿】

【決められた期限の中で作品やレポートを計画的に仕上げる力】

## 評価資料

出席状況、授業中の観察、提出物、忘れ物、制作進度、アイデアスケッチ、学習プリント

作品、クロッキー帳、鑑賞プリント、ファイル等

## 【使用教材等】

(1) 教材費より購入させていただくもの  
実習材料費（2000円程度）

(2) 作品によっては、ご家庭から材料を持ってきていただくこともあります。材料集めも学習の一つです。

## 【学習の予定】

月	題材名	学習内容
4	オリエンテーション	1年間の学習の目標や内容を理解する
5	理想の風景を作ろう～遠 近法から作る世界～ A表現(1)ア、イ B鑑賞(1)ア 〔共通事項〕(1)ア、イ	普段何気なく通り過ぎている風景について視点を変えて 「今まで見えなかった世界」を見つける。 ・スケッチ ・線遠近法・色彩遠近法・空気遠近法
6		
7	その1枚が人を動かす～S DGs ポスター～ A表現(2)ア、イ、ウ B鑑賞(1)ア、イ〔共通事 項〕(1)ア、イ	クロームブックでポスターを作る。 ・文字のバランス ・効果的な配色 ・レタリング ・動きの工夫 ・伝達の効果
9		
10		
11	あなたと私もキャラク ター！！～コミックイ ラストで表現しよう～ A表現(1)イ(2)ア B鑑賞(1)イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	コミックイラスト表現を学び、自身をキャラクターとし て表現する。 ・コミック表現 ・トーン表現 ・デフォルメ表現
12		
1	瞬間の美しさを形にA表現 (1)ア、イ B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	人体表現の基礎を可塑性のある粘土を素材として表現す る。 ・スケッチ ・人体の構造 ・鑑賞 ・彩色
2	デザインとクラフト A表現(1)イ(2)ア	工芸作品とアニメーションの表現。 ・構成
3	B鑑賞(1)イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	・アニメーション

【保健体育って何？】

人はなぜ運動するのでしょうか。運動にはどんな効果があるのでしょうか。また、体力や運動技能を高めるには、どんな運動・練習を、どのように行ったらよいのでしょうか。このようなことを頭において、いろいろな運動をおこないます。器械運動、陸上競技、水泳、球技、柔道、ダンス、個人の種目、集団の種目とありますが、それぞれに魅力のある運動ですので自分の体力や技能を高めるために、また、仲間と協力する、認め合うことなども学んでください。

また、保健では、中学生期が心も体も著しく生長・発達するときであることをふまえ、心や体が健やかに育つための正しい知識を身に付けるための学習をします。

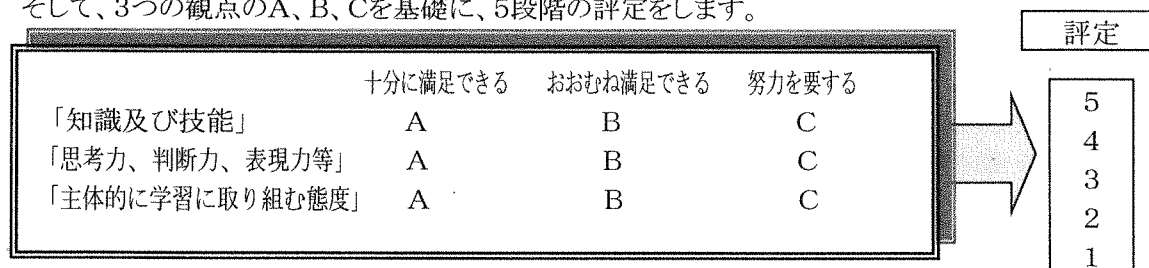
【こんな力がつきます】

- ① それぞれの運動の特性を理解し、運動の楽しさを味わい、体力や技能を高めます。
- ② 自己の能力に応じた目標を設定し、課題を解決するという考え方が育ちます。
- ③ 相手を尊重し、仲間と助け合って活動することができます。
- ④ 健康や安全について理解し、調和のとれた心身の発育、発達を目指す力を高めます。

【こんな方法で評価します】

保健体育は「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA、B、Cの3段階で評価します。

そして、3つの観点のA、B、Cを基礎に、5段階の評定をします。



◎ 知識及び技能

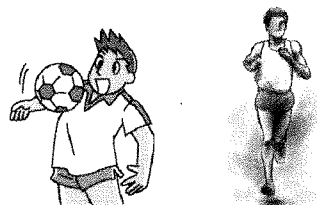
知識・技能の評価は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的の知識及び技能と関連付けたりして活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

◎ 思考力・判断力・表現力等




思考・判断・表現の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。

◎ 主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。



※ 授業で使用する「はちまき」は、最初の授業時に配布します。  
その後、紛失した場合は「各自購入」となります。

学期	学習すること	学習のポイント
一学期	<p>◎体育理論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の約束事の確認</li> <li>・集団行動、準備運動の仕方など</li> </ul> <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動</li> <li>・体力を高めるための運動</li> </ul> <p>◎新体カテスト</p> <p>◎陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・走り幅跳び、ハードル走</li> </ul> <p>◎器械運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・マット運動、跳び箱運動</li> </ul> <p>◎水泳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ</li> </ul>  <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の防止 エ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶ。</li> <li>・授業時の服装、持ち物、見学等の約束を理解する。</li> <li>・運動の特性に応じた学び方や安全の確保の仕方を理解する。</li> <li>・柔らかさや、巧みな動きを高める。</li> <li>・力強い動きを高める。</li> <li>・一人一人が「目標をもつ」、「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。</li> <li>・ポイントや方法を知る。</li> <li>・各種目に応じた練習を工夫し自己の能力を高めるよう、仲間と協力して練習する。</li> <li>・自分のできる技・跳び方を発展させる。</li> <li>・クロールや平泳ぎ、背泳ぎの技能や練習方法を学ぶ。</li> <li>・事故防止の心得や安全な行動を学ぶ。</li> <li>・応急手当(傷害の悪化防止)、心肺蘇生法</li> </ul>
二学期	<p>◎体育理論</p> <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動</li> <li>・力強い動きを高める運動</li> </ul> <p>◎体育祭</p> <p>◎球技Ⅰ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球 ・ソフトボール</li> </ul>  <p>◎陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走</li> </ul> <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と疾病の予防 ウ、エ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶ。</li> <li>・個人またはペアで自分にあった運動を選び、施設や用具を利用・工夫して取り組む。</li> <li>・仲間と積極的に関わり合い取り組む。</li> <li>・ルールを理解してゲームを行い、自己やチームの課題を見つけ、技能を高める。</li> <li>・自己にあったピッチとストライドで上下動の少ない動きで走る。</li> <li>・生活習慣病などの予防法</li> <li>・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康</li> </ul>
三学期	<p>◎体育理論</p> <p>◎ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現代的なリズムのダンス</li> </ul> <p>◎武道(柔道)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・礼法、基本動作、受け身、固め技 投げ技、試合</li> </ul>  <p>◎球技Ⅱ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・サッカー、バスケットボール</li> </ul> <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害の防止 ア、イ、ウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方について学ぶ。</li> <li>・恥ずかしがらずに思いきり体を動かし、表現する。</li> <li>・礼儀作法を学び、基本動作を身に付ける。</li> <li>・相手を尊重する態度を育てる。</li> <li>・対人での基本技を身に付ける。</li> <li>・パス、ドリブル、シュートなど自分の能力にあわせて練習し、技能を高める。</li> <li>・リーグ戦を行い、チームの課題を把握し、次回の練習内容に生かす。</li> <li>・交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因</li> <li>・交通事故などによる傷害の防止</li> <li>・自然災害による傷害の防止</li> </ul>

# 技術・家庭科（技術分野）シラバス

## 2 学年

□技術・家庭科（技術分野）の学習とは…

技術分野の学習は、科学技術や情報化が進展する社会において、一般国民として技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することをねらいとしています。ものづくりなどの活動を通して、材料と加工、生物、エネルギー、情報などの知識や技術を習得しながら、技術と社会や環境とのかかわりについて考えていきます。

2年生では、生物育成の技術とエネルギー変換の技術を学習します。生物育成の技術では、作物の栽培のみならず、動物の飼育や水産生物の飼育の実態についても学びます。生産と消費の中で、生命倫理についても考えを深めていきます。エネルギー変換を利用した製品などの学習を行います。エネルギー変換を利用した製品の学習では、はんだごてを使ったはんだづけや、使用目的や条件を踏まえた簡単な電気回路の設計・製作、機構等の仕組み、保守点検などについて学びます。目的とする動作を実現するために「技術の見方・考え方」を働かせて活動を進めます。

□技術分野の学習で身に付く力は…

学習を通して、「生物育成の技術」や「エネルギー変換の技術」が社会や環境に果たしている役割と影響について理解し、今後、よりよい社会を築いていくために、これらの技術をどのように活用していけばよいのかを考える能力と態度が育成されます。また、勤労観や職業観、問題解決能力なども合わせて醸成され、これからの社会で主体的に「生きる力」が身に付きます。

□評価の観点と評価方法

技術分野の学習は次の3つの観点（通知票に記載）をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCをもとに5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5 4 3 2 1
思考・判断・表現	A	B	C	
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	

観点	観点の説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	設計図・工具や機器の使用状況・制作品、定期テストの得点 等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	ワークシート・レポートの内容、定期テストの得点 等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	ワークシート・レポートの内容や授業での発言内容 等

【使用教材等】

生物育成にかかわる栽培セットとエネルギー変換製作品の材料費がかかります。

【学習の予定】

2年生の技術分野の授業は4月から始まります。内容は次の通りです。

月	題材名	学習内容
4	生物を活用し、安定した生活を実現する技術について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ガイダンス</li> <li>○社会における生物育成の技術</li> <li>○植え付け</li> <li>○栽培における環境の整備</li> <li>○土壌の性質と施肥</li> <li>○技術による問題解決の工夫</li> <li>○栽培における管理作業</li> <li>○問題の発見と課題の設定、設計・計画</li> <li>○育成計画と記録</li> <li>○動物の飼育に関する技術</li> <li>○水産生物の栽培に関する技術</li> <li>○収穫</li> <li>○問題解決の振り返り</li> <li>○これからの生物育成の技術について</li> </ul>
5		
6	エネルギー変換の技術を活用した製品の製作・利用を通して、持続可能な社会について考えよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○わたしたちの生活とエネルギー変換</li> <li>○電気エネルギーの利用</li> <li>○機器の安全な利用と保守点検</li> <li>○エネルギー変換の実際                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・電気回路（LEDの発光と抵抗器）</li> <li>・電気回路（光センサの回路）</li> <li>・電気回路（コンデンサによる充電）</li> <li>・電気回路（トランジスタの増幅回路）</li> <li>・電気回路（応用）</li> </ul> </li> </ul>
8		<ul style="list-style-type: none"> <li>○技術による問題解決の工夫</li> <li>○問題の発見と課題の設定、設計</li> <li>○構想の検討</li> </ul>
9		<ul style="list-style-type: none"> <li>○製作品の製作                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・はんだづけ</li> <li>・組立て</li> <li>・点検</li> </ul> </li> <li>○問題解決の振り返り</li> </ul>
10		<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題の発見と課題の設定、設計・機械部品                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動を変化させるしくみ</li> <li>・動力伝達のしくみ</li> </ul> </li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題解決の振り返り</li> <li>○これからのエネルギー変換の技術について</li> <li>○情報とわたしたちの生活</li> <li>○技術による問題解決の工夫</li> </ul>

◎ 2学期の前期と後期の切り替えのとき（2学期中間テスト）に定期テストを1回実施します。

# 技術・家庭科（家庭分野）シラバス 2学年

## □技術・家庭科（家庭分野）の学習とは…

技術・家庭科は『学んだことを生活に活かすことを目標に、将来の自分を思い描きながら学習する教科』です。

2学年の家庭分野では、食生活（食文化と環境）について学習を進めていきます。食生活では、中学生に必要な栄養の基礎学習を土台として、魚の調理、肉の調理、地域の食材を使った野菜調理とそれぞれを活用した一日分の献立を考えます。また、食分野の最終段階として、自分の食生活の課題を発見し、それを解決する食生活（献立）の工夫を考えます。

## □家庭分野の学習で身に付く力は…

食事の役割や健康と食事とのかかわりを知り、中学生に必要な栄養を考えた献立を作ることができます。食品を適切に選び、安全や衛生に気をつけながら日常の食事を調理するための知識と技術が身に付きます。衣服の簡単な手入れと補修ができるようになります。また、学習した知識や技術を実際の生活の中で生かそうとする能力を育てることは、生きる力になります。

## □評価の観点と評価方法

家庭分野は、次の3つの観点（通知票に記載）を、ABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に、5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5
思考・判断・表現	A	B	C	4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	3
				2
				1

観点	観点の作成	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	定期テストの得点、授業プリントの内容、被服技術、調理技術、発表内容等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	発言内容、提出物の内容、発表内容、授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、被服技術等

## 【学習の予定】

2年生の家庭科の授業は10月中旬から3月（学年末テスト）までの後期です。

以下が、学習の流れの目安です。

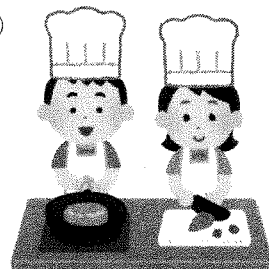
10月 家庭科のオリエンテーション

11月 生鮮食品と加工食品、食品の安全と保存

12月 献立作成①

1月 肉、魚、野菜の調理

2月 献立作成②



## 【使用教材等】

調理実習材料費がかかります。

## 外国語科シラバス 第2学年

### 〈なぜ英語を勉強するの?〉

母国語として英語を使っている人は世界中に約4億人います。これは中国語(約10億人)に次いで2番目に多い数です。ところが、第2言語(母国語以外によく使うことば)として使っている人まで含めると、20億人以上になります。つまり英語は世界で最も多くの人に使われている言葉なのです。

今や政治家も、ビジネスマンも、スポーツ選手も、世界で活躍している人はほとんど英語を使っていますね。そうでなくてもテレビからは英語だけのCMが流れ、街には英語で書かれた看板があふれています。海外旅行や海外出張もめずらしくない時代になっています。「私は日本人だから日本語だけ話せばいい」などと言っていたら時代おくれになってしまいます。多くのチャンスや楽しみを得るためにも、しっかり英語を身に付けましょう。

### 〈評価規準について〉

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。		
読むこと	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。		
話すこと〔やり取り〕	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。		
話すこと〔発表〕	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができるようにする。		
書くこと	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。		

### 〈家庭学習ではどんなことをするの?〉

- ☆ 予習(授業の前日): 次の日に学習する単語の意味を調べ本文をノートに書く。
- ☆ 復習(授業の当日): その日に学習した単語や文を書いて覚える。
- ☆ その他: 授業で指示が出ることもあります。



## 〈第2学年の目標〉

英語を使って自分のことや身の回りのことについて表現したり、相手の言うことを理解できる。

### 〈英語の評価〉

表の4つの観点から、A:十分に満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する、の3段階で評価します。このA、B、Cをもとに5段階の評定が行われます。

	聞くこと	読むこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	・定期テスト	・音読テスト ・定期テスト	・ALTとの会話	・スピーチ活動	・定期テスト ・小テスト
思考・判断・ 表現	・定期テスト ・ALTとの会話	・音読テスト ・定期テスト	・スキット ・ALTとの会話	・スピーチ活動	・英作文 ・定期テスト
主体的に学習 に取り組む態 度	・会話テスト ・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・授業中の音読	・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・スピーチ活動 ・ワークシート ・授業中の挙手 発言	・ノート・ワーク ・ワークシート ・自己評価

## 〈学習計画〉

学期	月	題 材	文 型 ・ 文 法	目 標
1 学期	4	Classroom English Program 1 Starts of a New School Year	I'm going to ~. / I will ~. / When ~, ... / If ~, ...	・予定やこれからのことが言えるようになる。 ・新学期の出来事や友達について話せるようになる。 ・夏休みの予定などについて意欲的に話せるようになる。
	5	Program 2 Leave Only Footprints	I think ~. / I don' t think ~. / We must ~. / We have to ~. / We don't have to ~.	・義務や命令について言えるようになる。 ・自分の考えについて意欲的にやりとりできる。
	6	Program 3 Taste of Culture	I want to see ~. / I enjoy dancing. / I'll go to New York to study ~. / ~ a lot of things to do	・自分のしたいことがいえるようになる。 ・将来の夢について意欲的にやりとりできる。
	7	Our Project4 「夢の旅を企画しよう」 Reading 1 Gon, the Little Fox	復習	・まとまりのある文章を読んで要点が理解できる。

	8	Program4 High- Tech Nature	cuter than ~ , more expensive than~/ the longest ~ , the most wonderful~/ as big as~, not as heavy as~	・2つのものや3つ以上のものを比べて、自分の 考えを言えるようになる。
2 学 期	9	Program 5 Work Experience	know how to do/ You look~. / I'll show you~.	・人やものの存在について言えるようになる。 ・いつ何をするか言えるようになる。 ・条件の内容について言える。
	10	Program6 Live Life in True Harmony	Is used/ was built by~. / is known to~, are covered with~	・自分のしたいことが言える。 ・行動の目的が言えるようになる。 ・何をするためのものか言えるようになる。 ・動作について言えるようになる。 ・人や物の様子、状態について言えるようになる。 ・誰かに何かを与えるということが言えるようになる。
	11	Our Project5 「こんなひとになりたい」 Reading2 Friendship beyond Time and Borders	復習	要点、まとまりのある文を読んで理解する。
	12	Program7 A Gateway to Japan	I have already read~. / Have you taken ~? / I haven't packed ~. / I have never seen~. / Have you ever climbed ~ ? / I have climbed ~.	・2つのものを比べて説明できる。 ・最も程度の高いものについて説明できる。 ・同じ程度の物について説明できる。
3 学 期	1	Program 8 A Hope for Lasting Peace	I have practiced ~. / How long have you been~? / We have been waiting~.	・2つのものを比べる別の言い方や最も程度の高 いことを言う別の言い方ができるようになる。
	2	Our Project 6 「この1年で得た宝物」.	復習	・されたり、してもらったりすることについて言える ようになる。
	3	Reading3 Visas of Hope	復習	・まとまりのある文章を読んで要点が理解できる ようになる。

※ 各月の進度は目安です。

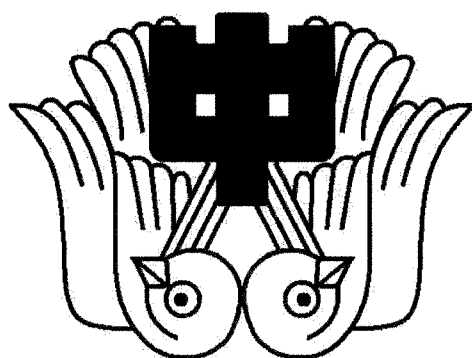
<使用教材> ・教科書 ・ノート ・副教材 ・授業プリント

令和6年度



3学年

シラバス



上尾市立上尾中学校

# 国語科シラバス

3 学年

## 【国語って何？】

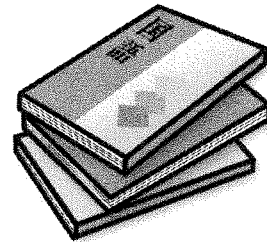
- (1) 自分で自分の言葉の力を高めるための教科。
- (2) 言葉を学びながら、美しいものを味わい、人間の真実の姿を知り、人間や社会のあり方について考える教科。
- (3) 授業で学んだ言葉の力が自分の生活に生かされ、生活で学んだ言葉の力（読書、生徒会活動等）が授業に生かされる教科。

## 【言葉の力とは？】

- (1) 自分の意見や考えをはっきりと主張でき、自分のことを相手によく分かってもらったり、相手の心を動かしたりできる力。話す力。
- (2) 文学作品に表わされた美を味わい、人間や人生の奥深い姿を知る力。文学を読む力。
- (3) 自然科学や社会科学など、あらゆる分野の情報を取り入れる力。説明文を読む力。
- (4) 自分の意見や考えを誰にでも分かるように書き、相手の心を動かす力。書く力。

## 【言葉の力を身に付けるには？】

- (1) 読書をする。
- (2) 課題や先生の質問に対し、自分で考える。
- (3) 授業中に発言する。
- (4) 声を出して教材文を読む。
- (5) 書きたいと思うことをたくさん書く。
- (6) 正しい漢字、正しい言葉づかいを普段から意識する。
- (7) 漢字は字の意味も覚える。
- (8) 進んで学習する。(何よりもやる気が大切です。)



## 【こんな方法で評価します。】

国語は次の3つの観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）を、A（十分満足できる）B（おおむね満足）C（努力を要する）の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基に5段階の評定をします。

\*分かりやすく説明すると、こんな人が「A」になります。

観点	
知識・技能	テストで知識を問う問題（漢字・文法・語句）の理解度が高い。 言葉の決まりを理解して正しく文章が書くことができる。 文字を丁寧に書くことができる。
思考・判断・表現	テストで理解を問う問題の理解度が高い。 文章を正確に早く読み取れる。 話を正しく聞き、理解できる。スピーチや話し合い活動で考えを他者に伝えられる。 感想や考え、意見などが根拠を持ってわかりやすく書ける。書くことの学習（創作）でよい作品ができる。
主体的に学習に取り組む態度	授業、学習に対して粘り強く取り組み、学力の向上を図ろうとしている。 宿題や提出物をきちんと充実した内容で提出できる。 ノートをきちんと整理し、進んで学ぼうとする。 しっかりと話を聞き、進んで発表する。話し合い活動に積極的に参加する。

## 【使用教材等】

教科書、ノート、ワーク（教科書、漢字、文法等）、国語辞典（各自必ず用意してください）

【学習の予定】

月	学習すること	学習のポイント
4	【1 深まる学びへ】 世界はうつくしいと 握手 評価しながら聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報を正確に把握する。</li> <li>・相手に合わせて情報を再構成する。</li> <li>・わかりやすさを意識して話す。</li> </ul>
5	学びて時にこれを習ふ 情報処理のレッスン 情報の信頼性 文章の種類を選んで書こう 修学旅行 記を編集する 漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1 【2 視野を広げて】 作られた「物語」を超えて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行の出来事をわかりやすくまとめ、紙面構成を考える。下書きを読んで、話し合い、清書する。</li> <li>・読書して心に残った表現を書き記し、詞華集を作成する。</li> <li>・詩の中の言葉や表現から作者の思い、ものの見方をとらえる。</li> <li>・登場人物の言葉や動作から、人柄や心情をとらえる。</li> <li>・文章の展開に沿って内容をとらえ、社会や情報について理解を深める。</li> </ul>
6	硬筆展覧会作品練習 思考のレッスン 具体化・抽象化 説得力のある構成を考えよう 漢字に親しもう2 文法1 スイカは幾つ必要？ 実用的な文章を読もう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作者のものの見方や感じ方を読み取る。</li> <li>・俳句について理解し、表現の深さを味わう。</li> <li>・読書を通して自分の内面を見つめ、自己の向上につなげる。</li> <li>・助詞と助動詞の働きや用法、助動詞の活用について理解する。</li> <li>・丁寧語・尊敬語・謙譲語の特徴を理解し、使い分けられるように。</li> <li>・形が似ていて間違えやすい漢字の読み方と意味を調べる。</li> <li>・辞書を活用して同音異義語の意味や使い方を理解する。</li> </ul>
7	【3 言葉とともに】 俳句の可能性 俳句を味わう 言葉を選ぼう 言葉1 和語・漢語・外来語 読書を楽しむ 私の一冊を探しにいこう	
8	【4 状況の中で】 挨拶-原爆の写真によせて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを決めて、パネルディスカッションを行い、根拠を明らかにしながら、筋道を立てて説明できるようにする。</li> </ul>
9	故郷 聞き上手になろう 論理の展開を整える 言葉2 慣用句・ことわざ・故事成語 漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「故郷」の冒頭の文章を参考にして身の周りの風景を200~400字程度で描写する。</li> <li>・異なる立場から主張を見直し、説得力のある意見文を書く。</li> <li>・詩に表現されている主張を、現実の世界の在り方と対応させながら読む。</li> </ul>
10	【5 自らの考えを】 人工知能との未来 多角的に分析して書こう 漢字に親しもう4 話し合いを効果的に進める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景や人物を描写する語句や表現の着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。</li> <li>・古文を音読し、古文の言葉の響きを味わう。</li> <li>・和歌に表れた昔の人の思いや情景を読み味わう。</li> <li>・作者のものの見方や感じ方を読み取る。</li> <li>・漢文特有の言い回しに注意して音読し、読み慣れる。</li> <li>・根拠や理由に着目しながら、論理の展開をとらえる。</li> <li>・日本の伝統文化に関心を持ち、意欲的に読書に取り組む。</li> </ul>
11	合意形成に向けて話し合おう 音読を楽しもう 初恋 【6 いにしへの心を受け継ぐ】 君待つと「万葉・古今・新古今」 夏草「おくのほそ道」から	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比喩の効果を知り、自ら使えるようにする。</li> <li>・辞書を活用して、慣用句の意味や使い方を理解する。</li> <li>・重箱読みと湯桶読みについて理解する。</li> <li>・対義語・類義語について理解する。</li> </ul>
12	古典名句・名言集 【7 価値を生み出す】 誰かの代わりに 情報を読み取って文章を書こう 漢字3 漢字のまとめ 文法2 「ない」の違いがわからない 読書に親しむ 本は世界への扉 エルサルバドルの少女	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の細部に目を向け、コミュニケーションの重要性に気付く。</li> </ul>
1	温かいスープ わたしを束ねないで	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三年間で身に付けた国語の力を生かし、「私のアルバム」を編集し、発表する。</li> </ul>
2	三年間の歩みを振り返ろう 漢字に親しもう6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体の構成と共にページごとの紙面をどう作るか考えて、アルバムを作成する。</li> <li>・自分らしさが表れるよう工夫して世界に一冊しかないアルバムを編集する。</li> </ul>
3	学習を振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の世界の確かさ、豊かさを味わい、人間や社会・自然について、ものの見方・考え方・感じ方を広げ深めていく。</li> <li>・生きることのすばらしさを知り、豊かな心でたくましく生きることを学ぶ。</li> <li>・練習問題に取り組み、自分の弱点をつかんで補強していく。</li> </ul>

## 【社会科って何？】

3年生の社会科では、「歴史」（2つの世界大戦以降）と「公民」を学習します。「公民」とは現在の社会を生きる日本人として、世界の中の1人として生きていくために必要なことを学習していきます。具体的にはわが国のしくみや日本人としての義務や権利など日本国憲法を通して学ぶとともに、社会情勢、政治、経済、国際社会、領域と国家主権などを学習していきます。ですから、「公民」は私たちの非常に身近な「現在（いま）」を学習し、考えていく分野なのです。

## 【社会科を学習するとこんな力がつきます】

- \*日本や世界の地理と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解するとともに、各種の資料に親しみ、社会的事象に関する有用な情報を適切に選択して読み取ったり、図表などにまとめる力
- \*社会的事象から、問題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的・多角的に考察し、社会の変化をふまえ公正に判断するとともに、追究し考察した過程や結果を適切に表現する力
- \*社会的事象に対する関心を深め、それを意欲的に追究し、民主的で平和な国家及び社会の担い手として、よりよい社会を考え、自覚を持って責任を果たそうとする力

## 【こんな方法で評価します】

社会科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

	十分満足できる	おおむね満足できる	努力を要する	評定
「知識・技能」	A	B	C	5
「思考・判断・表現」	A	B	C	4
「主体的に学習に取り組む態度」	A	B	C	3
				2
				1

## 【それぞれの観点は次のような方法で評価します。】

観点	評価方法	評価のめあて
知識・技能	学習ノート、レポート 発言、発表 その他提出物	日本の国土と歴史、現代の政治・経済・国際関係等について理解することができる。 年表、地図、統計など様々な資料から情報を読み取ったり、気付いたことを表などにまとめることができる。

思考・判断 ・表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	様々な社会的事象の特色やかかわり、変容の理由を、多面的 ・多角的に考察し、表現することができる。 課題の解決に向けて自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。
主体的に学 習に取り組 む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート、レポート 定期テスト 発言、発表	積極的に授業に取り組み、学習に対する見通しを持って、課 題を主体的に追究することができる。

### 【学習の予定】

	月	学習すること	学習のねらい
1 学期	4	「二度の世界大戦と日本」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・二度の世界大戦について、原因・経過・結果について、簡単にまとめている。</li> <li>・終戦から現在に至るまでの出来事の概要について、世界の動きと関連させて理解する。</li> <li>・戦後の日本の民主化と再建、国際社会の復帰について世界の動きと関連して理解する。</li> <li>・国際社会における日本の役割を理解し、よりよい未来に向けてどうすべきか考えている。</li> <li>・現代日本の特色のグローバル化、情報化、少子高齢化などが政治、経済にどのような影響を与えているか理解する。</li> </ul>
	5		
	6	「現代の日本と世界」	
	7	「私たちの生活と現代社会」	
2 学期	8	「個人の尊重と日本国憲法」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが国の政治が憲法に基づいていることと、基本的人権について理解する。</li> <li>・自由権や社会権について深く考え、共に生きる（共生）社会の大切さを理解する。</li> <li>・民主政治の基本的な姿を理解し、国民の政治参加の意義を考える。</li> <li>・わが国の民主政治のしくみを理解する。</li> <li>・都道府県や市町村の政治のしくみや地方自治についての理解を深める。</li> <li>・身近な消費生活や流通、生産などのしくみを中心に経済活動の意義を理解する。</li> <li>・市場経済や企業、金融のしくみや働きについて理解する。</li> <li>・福祉のしくみとその向上について理解する。</li> </ul>
	9		
	10	「現代の民主政治と社会」	
	11	「私たちの暮らしと経済」	
	12		
3 学期	1		<ul style="list-style-type: none"> <li>・領域や地球環境問題など国際社会の課題とその解決法について考え、理解する。</li> <li>・世界平和に必要な国際協調について考え、理解する。</li> </ul>
	2	「地球社会と私たち」	
	3	「より良い社会を目指して」	

【使用教材】教科書・ノート・地図帳・歴史資料集・公民資料集

\* 年度により若干変更もあります



<第3学年の生徒・保護者の皆様へ>

本年度、第3学年数学の授業について御案内します。各自が、この1年間の学習目標を定めたり、学習計画を立てたりする上で十分に御活用ください。

【数学って何?】

基本的には算数の延長です。中学校ではさらに、数の概念、論理的な思考力を身に付けるための授業を展開していきます。

【こんな力がつきます。】

文字を使ってある事柄を式で表して考えていく力、物事を論理的に推論していく力が身につきます。

【目標】 第3学年の数学の目標は、次のようになっています

A <数と式>

- ・数の平方根について理解し、目的に応じて計算したり変形したりする能力を伸ばすとともに、2次方程式について理解し、式を能率的に活用できるようにする。

B <図形>

- ・相似や三平方の定理について、理解しそれらを図形の性質の考察や計量に用いる能力を伸ばすとともに、見通しをもって論理的に考察し表現する能力を伸ばす。

C <関数>

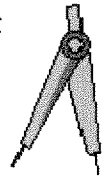
- ・関数  $y=ax^2$  について理解するとともに、関数関係を見出し表現し考察する能力を伸ばす。

D <データの活用>

- ・標本調査の意味と有用性について、無作為抽出の意味を模擬的な実験を経験することを通して理解させる。

【こんな方法で評価します。】

<評価の観点>



①知識・技能

多項式、平方根、2次方程式、関数、相似な図形、三平方の定理、標本調査、円周角の定理などに関する基礎的な概念や原理・法則を理解し、処理する方法を身に付けている。

②思考・判断・表現

既に学習したことと関連付けて、計算の方法を考察し表現することができる。また、事象を具体的な場面で活用したり、解決方法が適切であるか判断したり、説明したりすることができる。

③主体的に学習に取り組む態度

さまざまな事象を数学的にとらえたり、考えたりしようとし、学んだことを生活や学習に生かそうとしている。また、問題解決の過程を振り返って、評価改善しようとしている。

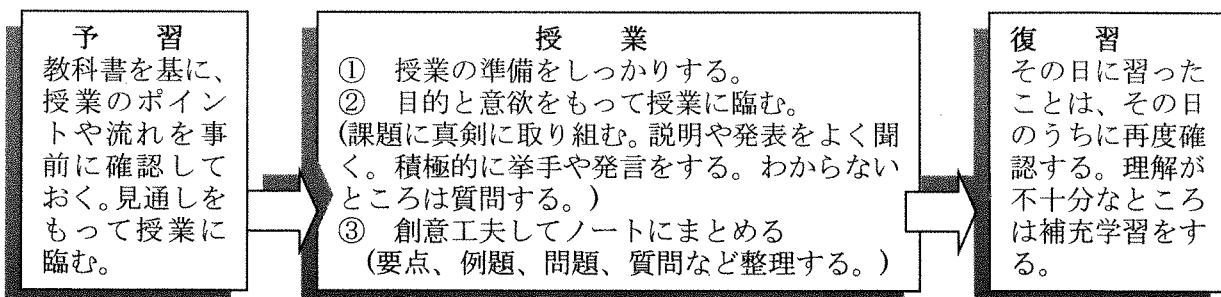
<評価の方法>

毎時間の授業への取組、定期試験の結果、授業のノートや提出物の内容を基にして、3つの観点のそれぞれを「十分満足できる…A、おおむね満足…B、努力を要する…C」の3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に総合的に評価し、5段階の評定をします。

<使用教材>

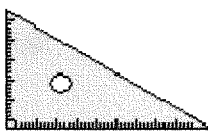
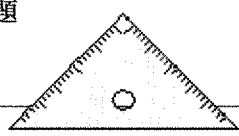
- ・教科書
- ・プリント…問題解決的な練習問題や観察・操作・実験などに使うものなど。
- ・ワーク…基礎・基本を身に付け、応用力を伸ばすための問題集。

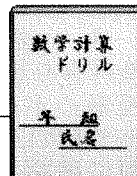
<学習の進め方>





【内 容】

学期	月	学習の内容	学習のねらい
1 学期	4月	オリエンテーション 1章 文字を使って説明しよう [多項式] ・多項式の計算 ・因数分解 ・式の計算の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数学の授業の目標、内容、評価などを知る。</li> <li>・単項式と多項式の乗法、除法について理解し、計算ができる。</li> <li>・多項式や根号を含む式を分配法則、乗法公式を用いて計算ができる。</li> <li>・因数分解の意味を理解する。</li> <li>・共通因数をくくりだして、式を因数分解することができる。</li> <li>・乗法公式や因数分解の公式を数の計算に利用することができる。</li> <li>・展開や因数分解を式による証明に利用することができる。</li> </ul>
	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本の問題</li> <li>・章の問題</li> </ul> 	
	6月	2章 数の世界をさらにひろげよう [平方根] ・平方根 ・根号を含む式の計算 ・平方根の利用 ・基本の問題 ・章の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・因数、素数、素因数分解の意味を理解し、利用できる。</li> <li>・平方根の定義を理解し、基本的な性質が理解できる。</li> <li>・平方根の大小関係が理解できる。</li> <li>・無理数、有理数の意味が理解できる。</li> <li>・根号を含む式の乗法、除法を理解し、計算ができる。</li> <li>・根号を含む式の加法、減法を理解し、計算ができる。</li> <li>・根号を含む式を分配法則を使って計算できる。</li> </ul>
	7月	3章 方程式を利用して問題を解決しよう [2次方程式] ・2次方程式とその解き方 ・2次方程式の利用 ・基本の問題 ・章の問題	
2 学期	8月 9月	4章 関数の世界をひろげよう [関数 $y=ax^2$ ] ・関数 $y=ax^2$ ・関数 $y=ax^2$ の性質と調べ方 ・いろいろな関数の利用 ・基本の問題 ・章の問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の中から、<math>y=ax^2</math> の関係にある数量を見だし、式で表すことができる。</li> <li>・<math>y=ax^2</math> のグラフとその特徴が理解できる。</li> <li>・変化の割合の意味がわかり、それが求められる。</li> <li>・放物線を利用して、問題を解くことができる。</li> <li>・直線と放物線に関するいろいろな問題を解くことができる。</li> </ul>
	10月	5章 形に着目して図形の性質を調べよう [相似な図形] ・相似な図形 ・平行線と比 ・相似な図形の面積と体積 ・基本の問題 ・章の問題	
	11月	6章 円の性質を見つけて証明しよう [円] ・円周角の定理 ・円周角の定理の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図形の拡大、縮小などの作図ができる。</li> <li>・相似の位置、中心の意味がわかる。</li> <li>・相似な図形の性質、相似比がわかる。</li> <li>・比の性質が理解でき、それが使える。</li> <li>・三角形の3つの相似条件が理解でき、それをを用いることができる。</li> <li>・三角形と比の性質とその逆がわかる。</li> <li>・中点連結定理が理解でき、それをを用いることができる。</li> <li>・平行線と比の性質がわかり、それを使える。</li> <li>・三角形の相似を利用して、縮図がかけ、距離や高さが求められる。</li> <li>・基本的な長さの問題がわかる。</li> <li>・発展的な長さの問題や証明問題に習熟する。</li> </ul>
	12月	7章 三平方の定理を活用しよう [三平方の定理] ・三平方の定理 ・三平方の定理の利用 ・基本の問題 ・章の問題	
3 学期	1月	8章 集団全体の傾向を推測しよう [標本調査] ・標本調査 ・標本調査の利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標本調査の方法を知り、集団がもつ傾向を調べることができる。</li> <li>・総復習問題をやることで再度理解を深める。</li> </ul>
	2月 3月	3年間のまとめ問題 ・総復習問題を解く。 	



【使用教材等】

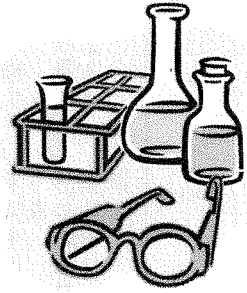
ワーク、プリント教材等を教材費より購入させていただきます。  
コンパス・三角定規をいつでも使用できるように準備をしてください。

## 理科シラバス

3学年

### 【理科って何?】

私たちの身近な自然や現象をじっくり観察してみましょう。不思議だなと思うことがたくさんありませんか。自然の中には思いがけないつながりや規則性があります。理科は、そんな自然現象の不思議を見付け、なぜそのようなことがおこるのか、実験や観察を行い、その結果をもとに自然の特徴や規則性を見付け出していく勉強です。そのために、中学校の理科の授業では、基本的な知識を土台として、好奇心（興味や関心）をもってじっくりと自然現象と向き合う姿勢、正しい実験操作技術、結果を分かりやすくまとめる力、そして、結果からいえることを筋道を立てて考える力を付けていきます。

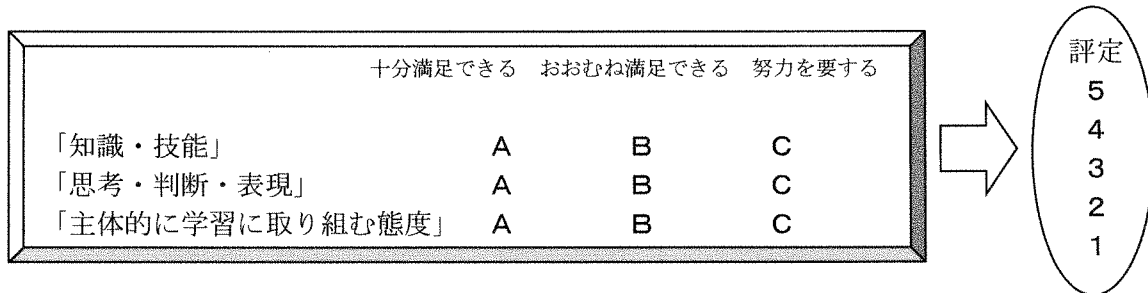


### 【こんな力がつきます。】

- 1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技術を身に付けます。（知識・技能）
- 2 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養います。（思考・判断・表現）
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養います。（主体的に学習に取り組む態度）

### 【こんな方法で評価します。】

理科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCを基礎に5段階の評定をします。

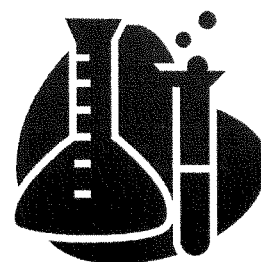


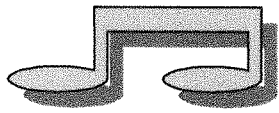
それぞれの観点は次のような方法で評価します。

観点	評価方法	評価のめあて
知識 技能	定期テスト、小テスト 学習ノート、レポート 技能テスト、制作物	基礎的な理科の知識、考え方を身に付けている。 安全、正確に実験を行うことができる。 実験結果を分かりやすくまとめることができる。 実験結果を正確にグラフ、表に表すことができる。 観察結果を細部までスケッチすることができる。
思考 判断 表現	学習ノート、レポート 定期テスト 発言および発言の発想	実験、観察の目的を踏まえて、結果をもとに筋道を立てて考察することができる。 自分の考えを分かりやすくまとめ、発表することができる。 計算の問題を解くことができる。
主体的に学 習に取り組 む態度	学習に取り組む姿勢 学習ノート レポート、提出物	進んで事物・現象に関わることができる。 見通しをもったり、振り返りを行ったり、科学的に探究することができる。 提出物の内容を評価する。

【学習の予定】

月	単元	学習内容
4	単元2 生命の連続性 1章 生命の成長 2章 生命の殖え方 3章 遺伝の規則性 4章 生物の種類の多様性と進化	成長と細胞、細胞分裂 有性生殖、無性生殖 遺伝子、優性形質、劣性形質、メンデルの法則 変温動物、恒温動物、進化、相同器官
5		
6	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 1章 生物と環境との関わり 2章 自然環境と私たち 3章 自然災害と私たち	生態系、食物連鎖、分解者、物質循環 環境調査、温室効果ガス、環境保全、生物濃縮 大地の変動、火山地震災害、気象災害、自然による恵み
7	単元1 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン	電解質、電離、電気分解
8	2章 酸・アルカリとイオン 3章 電池とイオン	酸性、アルカリ性、中和、塩 電池
9		
10	単元4 運動とエネルギー 1章 力の規則性 2章 力と運動 3章 仕事とエネルギー 4章 エネルギーの移り変わり	水圧、浮力、力の合成、力の分解 運動の変化と力、等速直線運動と力・慣性、作用反作用 仕事、ジュール、仕事率、仕事の原理 位置エネルギー、運動エネルギー、力学的エネルギーの保存
11	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 4章 エネルギー資源の利用と私たち	エネルギー変換、エネルギー保存の法則、火力発電、水力発電、原子力発電、様々な発電
12	単元3 地球と宇宙 1章 天体の1日の動き 2章 天体の1年の動き	天球、南中、太陽の日周運動、恒星の日周運動 恒星の年周運動、季節の変化、地軸の傾き、
1	3章 月や惑星の動きと見え方 4章 太陽系と恒星	月の動きの見え方、日食、月食、内惑星、外惑星 太陽のつくり、太陽系、銀河系、宇宙の広がり
2	単元5 自然環境や科学技術と私たちの未来 4章 エネルギー資源の利用と私たち 5章 科学技術の発展と私たち	放射線・放射能 情報通信とコンピュータ、プラスチック、新素材の開発
3	終章 科学技術の利用と自然環境の保全	有限な資源、環境保全と科学技術、持続可能な社会





# 音楽科シラバス

3 学年

## 【(音楽)って何?】

○ 授業では歌唱、器楽、鑑賞、創作に取り組みます。

歌唱では、斉唱や合唱を中心に、器楽ではアルトリコーダー演奏を中心に、鑑賞では幅広い音楽に触れ、創作では簡単な旋律づくりを行います。そして、それらの活動を通じて、基礎的な知識や技能、表現力や感性を高め、豊かな情操を養います。

## 【こんな力がつきます。】

- 1 音楽の興味・関心を高め、生活を明るく豊かなものにすることができます。
- 2 音楽の持つ美しさや豊かさを感じたり、基礎的な知識・技能を身に付けたりすることによって、より豊かで創造的な音楽表現ができるようになります。
- 3 幅広い音楽活動を通して、心豊かに音楽を鑑賞することができます。

## 【こんな方法で評価します。】

音楽の教科は次の3つの観点(通知票に記載)を、ABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCをもとにして5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	→ 評定	
知識・技能	A	B	C		5
思考・判断・表現	A	B	C		4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C		3
				2	
				1	

## 評価の規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曲の構造や歌詞の内容について理解している。</li> <li>・ 曲や歌詞に応じた発声について理解している。</li> <li>・ 発音や姿勢など、歌うために必要な発声や、全体の響きに合わせて歌う技能を身に付けている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知識や技能を生かして、表現を工夫している。</li> <li>・ 音楽を形づくっている要素をとらえ、雰囲気を感じとり、よさや美しさを味わって聴いている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽を楽しみながら、すすんで表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。</li> </ul>

## 【学習の予定】

月	題材名・教材名	学習内容
4	歌唱 「花」 器楽：アルトリコーダー 「星に願いを」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の朗読を行い、歌詞の内容を味わう。</li> <li>・4分の2拍子を感じながら歌う。</li> <li>・曲想を味わいながら、二部合唱をする。</li> <li>・旋律の流れの特徴を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。</li> </ul>
5	鑑賞 能「敦盛」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・謡にふさわしい発声を理解し、その特徴を生かしながら歌う。</li> <li>・中世以降、武家社会を中心に愛好された「能」を鑑賞して、その魅力を味わう。</li> </ul>
6	歌唱 「風の中の青春」 「帰れソレントへ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パートの役割や、旋律の音の動きを考えながら表現を工夫して歌う。</li> <li>・曲想を味わい、曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</li> </ul>
7	創作 Let's Create! 器楽 「風にのって」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音の重なり方や構成の特徴を理解し、まとまりのあるリズムアンサンブルを工夫する。</li> <li>・曲の構造や背景を理解して、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。</li> </ul>
8 9 10	歌唱 学年合唱曲 クラス合唱曲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して、表現を工夫しながら合わせて歌う。</li> <li>・パートごとに旋律を確認し、曲の特徴をとらえ、盛り上がりを考えて歌う。</li> <li>・楽曲を味わい、パートの役割やバランスを考え、美しいハーモニーで歌う。</li> <li>・ハーモニーや発音やバランスに気をつけながら表現豊かに合唱する。</li> <li>・ステージマナーや鑑賞する態度を養う。</li> </ul>
11	器楽：アルトリコーダー 「愛の挨拶」 鑑賞 交響詩「ブルタバ」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旋律の流れの特徴を理解し、曲にふさわしい表現を工夫して演奏する。</li> <li>・オーケストラの響きにも多彩な種類があることを知る。</li> <li>・作曲者の生きた時代背景や人柄を知り、楽曲の理解を深める。</li> <li>・情景を想像しながら、鑑賞する。</li> </ul>
12	歌唱 「花の街」 鑑賞 「世界の諸民族の音楽」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲の背景を理解し、情景を思い浮かべながら曲にふさわしい表現を工夫して歌う。</li> <li>・我が国及び諸外国の様々な音楽の特徴を理解し、その良さや美しさを味わって聴く。</li> </ul>
1 2	歌唱 「早春賦」 歌唱 卒業にむけての合唱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情景を思い浮かべながら曲に合った表現を工夫して歌う。</li> <li>・今までの学習の集大成として心を込めて歌う。</li> <li>・楽曲の流れやバランス、発音や表現に注意しながら歌う。</li> </ul>
3	歌唱 卒業にむけての合唱 国歌「君が代」 「上尾中学校校歌」 3年間のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までの学習の集大成として心を込めて歌う。</li> <li>・3年間をまとめ、これからの人生と音楽について語り合う。</li> </ul>

# 美術科シラバス

3 学年

## 【美術って何？】

絵を描いたり、デザインをしたり、立体的な作品をつくったり、自分で使うことができるものを制作したりします。作品の制作や鑑賞を通して、自分らしい表現ができるようになることを目標としています。

## 【美術は3つの観点を総合して5段階の評定を出します】

知識・技能	思考・判断・能力	主体的に学習に取り組む態度
<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>形や色彩、材料、光などの性質や、それらが感情にもたらす効果などを理解している。</li> <li>造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などで捉えることを理解している。</li> <li>材料や用具の生かし方などを身に付け、意図に応じて工夫して表している。</li> <li>材料や用具の特性などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表している。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。</li> </ul>	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象や事象を見つめ形や色彩の特徴や美しさ、想像したことなどを基に主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</li> </ul>	<p>〈制作〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>美術の創造活動の喜びを味わい楽しく感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現の学習活動に取り組もうとしている。</li> </ul> <p>〈鑑賞〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的に美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情をこめ、心豊かな生活を創造していく態度を養う。</li> </ul>

## 評価資料

出席状況、授業中の観察、提出物、忘れ物、制作進度、アイデアスケッチ、学習プリント

作品、クロッキー帳、鑑賞プリント、ファイル等

3つの観点それぞれに

A（十分満足できる）、B（おおむね満足）、C（努力を要する）で評価します。

Aの評価は…Bに示した力をより発揮できたものがAになります。

Bの評価は…【丁寧に表現する力】【魅力的に見せるために複雑に表現する力】  
 【図工や美術の技能を活用する応用力】  
 【経験や他者の作品から学び、よりよい作品を作ろうとする姿】  
 【試行錯誤し、計画を立てうまくいかない時には修正を加える姿】  
 【決められた期限の中で作品やレポートを計画的に仕上げる力】

## 【使用教材等】

- (1) 教材費より購入させていただくもの実習材料費（2000円程度）  
 (2) 作品によっては、ご家庭から材料を持ってきていただくこともあります。材料集めも学習の一つです。

## 【学習の予定】

月	題材名	学習内容
4	オリエンテーション	1年間の学習目標を理解する。 美術を学ぶ意義を理解する。
5	自分と向き合うP24	様々な自画像を鑑賞する。
6	自分を見つめ、表そう	自分自身を見つめ直し、自身の個性を生かす発想をする。
7		既習の様々な絵画表現を使い表現する。 3年間の思い出や内面的なものもじっくりと見つめて絵画表現する。 ・テーマに合ったモチーフ探し ・人体の表現
8	原寸ギャラリーP46	アートカード（絵はがき）をもとに話し合い活動をする。
9	アートカードでオリジナル鑑賞ゲームを開発しよう B鑑賞(1)ア、イ 〔共通事項〕(1)ア、イ	班活動で鑑賞活動が深まるオリジナル鑑賞ゲームを企画する。多くの人を楽しめるような分かりやすい取扱説明書を作る。 ・鑑賞 ・色 形 材質 感情等の話し合い
10	祈りの造形P62	像の持つ姿・形・意味を考え、仏像の理解を深める。
11	～思いを立体表現に～	願いや祈りをもとに、発想を自分の未来や環境に広げ、自分の主張や考えを立体作品に表現する。 ・塑像 ・構成 ・接着方法
12		命の息吹を感じながら魅力的な作品として仕上げる。 ・生命力の表現
1	デザインで伝えるP70	自分を象徴する形をデザインし、切絵にする。
2	個紋を切絵にしよう	自分自身を友だちにアピールする。 ・単純化
3		・カッターの使い方 ・自分のアイデアをもとに色や素材などを検討する ・素材の組み合わせ

【保健体育って何?】

人はなぜ運動するのでしょうか。運動にはどんな効果があるのでしょうか。また、体力や運動技能を高めるには、どんな運動・練習を、どのように行ったらよいのでしょうか。このようなことを頭において、いろいろな運動をおこないます。器械運動、陸上競技、水泳、球技、ダンス、個人の種目、集団の種目とありますが、それぞれに魅力のある運動ですので自分の体力や技能を高めるために、また、仲間と協力する、認め合うことなども学んでください。

また、保健では、中学生期が心も体も著しく成長・発達するときであることをふまえ、心や体が健やかに育つための正しい知識を身に付けるための学習をします。

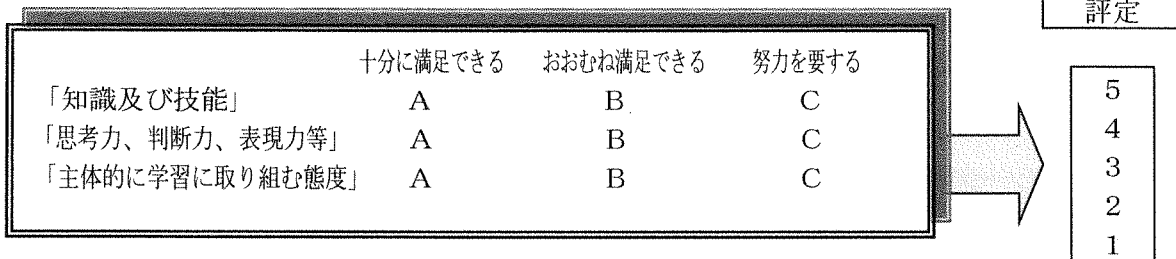
【こんな力がつきます】

- ① それぞれの運動の特性を理解し、運動の楽しさを味わい、体力や技能を高めます。
- ② 自己の能力に応じた目標を設定し、課題を解決するという考え方が育ちます。
- ③ 選択制授業によって、生徒の能力、適性、興味、関心に応じて運動(種目)を選び、より高い課題に挑戦することができます。
- ④ 健康や安全について理解し、調和のとれた心身の発育、発達を目指す力を高めます。

【こんな方法で評価します】

保健体育は「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をA、B、Cの3段階で評価します。

そして、3つの観点のA、B、Cを基礎に、5段階の評定をします。



◎ 知識及び技能

知識・技能の評価は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既有的知識及び技能と関連付けたりして活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについても評価します。

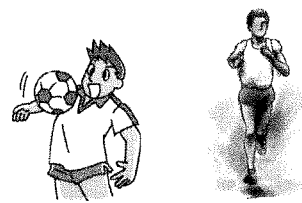
◎ 思考力・判断力・表現力等

思考・判断・表現の評価は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価します。




◎ 主体的に学習に取り組む態度

主体的に学習に取り組む態度の評価に際しては、単に継続的な行動や積極的な発言を行うなど、性格や行動面の傾向を評価するということではなく、各教科等の「主体的に学習に取り組む態度」に係る観点の趣旨に照らして、知識及び技能を習得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意思的な側面を評価します。

※ 授業で使用する「はちまき」は、最初の授業時に配布します。  
その後、紛失した場合は「各自購入」となります。





学期	学習すること	学習のポイント
一 学 期	<p>◎体育理論</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業時の約束事の確認</li> <li>・集団行動、準備運動の仕方など</li> </ul> <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体ほぐしの運動</li> <li>・体力を高めるための運動</li> </ul> <p>◎新体力テスト</p> <p>◎陸上競技・器械運動から選択 〈陸上競技〉走り幅跳び、ハードル走 〈器械運動〉マット運動、跳び箱運動</p> <p>◎水泳 </p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライ、リレー等 (各泳法における呼吸法、ストローク、キック法、スタート、ターン、記録など)</li> </ul> <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と疾病の予防 オ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化としてのスポーツの意義について学ぶ。</li> <li>・授業時の服装、持ち物、見学等の約束、集団走、準備運動の仕方を理解する。</li> <li>・柔らかさや、巧みな動きを高める。</li> <li>・力強い動きを高める。</li> <li>・一人一人が「目標をもつ」、「自己の体力の伸びを実感」できるようにする。</li> <li>・ポイントや方法を知る。</li> <li>・助走、空中姿勢、着地の流れを学ぶ。</li> <li>・インターバルの走り方、空中姿勢を知る。</li> <li>・正しい計測や仕方のルールを知る。</li> <li>・回転系、倒立系、バランス系の技に挑戦する。連続技の発表をする。</li> <li>・自分のできる技・跳び方を発展させる。</li> <li>・クロールと平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの正しいフォーム、呼吸法を知る。練習方法を学ぶ。事故防止の心得や安全な行動に仕方を学ぶ。リレー形式でタイムに挑戦する。</li> <li>・感染症の予防(原因、発生源、感染経路、予防)</li> </ul>
二 学 期	<p>◎体育理論</p> <p>◎体づくり運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・力強い動きを高める運動</li> </ul> <p>◎体育祭</p> <p>◎ダンス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロックソーラン</li> </ul> <p>◎卓球・ソフトボールから選択 〈卓球〉 </p> <p>〈ソフトボール〉</p> <p>◎陸上競技</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・長距離走 (走り方、呼吸法、ペースのつかみ方など)</li> </ul> <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康な生活と病疾病の予防 カ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化としてのスポーツの意義について学ぶ。</li> <li>・個人またはペアで自分にあった運動を選び施設や用具を利用・工夫して取り組む。</li> <li>・仲間と積極的に関わり合い取り組む。</li> <li>・ロックソーランの踊り方の特徴をとらえ、音楽に合わせて特徴的なステップや動きで踊る。</li> <li>・各種目の特性を理解し、基本練習、課題練習をおこないながらゲームができるようにする。ゲームを行い、自己の課題を見つけ、技能を高める。</li> <li>・リズムカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走る。呼吸法を意識する。</li> <li>・個人の健康を守る社会の取組(保健、医療機関、医薬品の正しい使用)</li> </ul>
三 学 期	<p>◎体育理論</p> <p>◎武道・ハンドボールから選択 〈柔道〉 〈ハンドボール〉</p> <p>◎サッカー・バスケットボールから選択 〈サッカー〉 〈バスケットボール〉 (個人、集団技能、ゲーム) </p> <p>◎保健</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康と環境 ア、イ、ウ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化としてのスポーツの意義について学ぶ。</li> <li>・礼儀作法を学び、基本動作を身に付ける。</li> <li>・相手を尊重する態度を育てる。</li> <li>・対人での基本技をもとに、簡易試合を行う。</li> <li>・パス、ドリブル、シュートなど自分の能力にあわせて練習し、チームとして作戦を立ててゲームをおこなう。</li> <li>・リーグ戦を行い、チームの課題を把握し、次回の練習内容を考える。</li> <li>・身体对环境に対する適応能力・至適範囲</li> <li>・飲料水や空気の衛生的管理</li> <li>・生活に伴う廃棄物の衛生的管理</li> </ul>

## □技術・家庭科（技術分野）の学習とは…

技術分野の学習は、科学技術や情報化が進展する社会において、一般国民として技術を適切に評価し活用する能力と態度を育成することをねらいとしています。ものづくりなどの活動を通して、加工、エネルギー、生物、情報などの知識や技術を習得しながら、技術と社会や環境とのかかわりについて考えていきます。

3年生では、情報に関する技術の学習として双方向性のあるコンテンツのプログラミングとプログラミングによる計測・制御を行います。双方向性のあるコンテンツのプログラミングではプログラムの基本的な手順についての学習を行います。プログラミングによる計測・制御ではセンサやコンピュータを利用して、身の回りに活用されている自動制御などについて学習します。これらの活動を通して、現代日本産業において、欠かせない組み込み技術についての理解と考えを深め、プログラミング的思考を身に付けます。

## □技術分野の学習で身に付く力は…

学習を通して、「情報に関する技術」が社会や環境に果たしている役割と影響について理解し、今後、よりよい社会を築いていくために、これらの技術をどのように活用していけばよいのかを考える能力と態度が育成されます。また、勤労観や職業観、問題解決能力なども合わせて醸成され、これからの社会で主体的に「生きる力」が身に付きます。

## □評価の観点と評価方法

技術分野の学習は次の3つの観点（通知票に記載）をABCの3段階で評価します。そして、3つの観点のABCをもとに5段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	→ 評定 5 4 3 2 1
知識・技能	A	B	C	
思考・判断・表現	A	B	C	
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	

観点	観点の説明	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	設計図・制作品、定期テストの得点 等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	ワークシート・レポートの内容、定期テストの得点 等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	ワークシート・レポートの内容や授業での発言内容 等

【学習の予定】

3年生の技術分野の授業は4月から始まります。家庭分野と隔週で実施していきます。内容は次の通りです。

月	題材名	学習内容
4	双方向性のあるコンテンツの設計と制作をしよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○デジタル作品の設計と制作</li> <li>・生活の中のメディア</li> <li>・デジタル作品の構想</li> <li>・プログラミング言語の基本</li> <li>・情報の収集と加工</li> <li>・作品の制作</li> <li>・作品の発表と評価</li> </ul>
5		
6		
7		
8		
9	プログラムを使って、機器を計測・制御しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活の中にある計測・制御</li> <li>○計測・制御のしくみ</li> <li>○フローチャート・アクティビティ図について</li> <li>・身近な機器のしくみ</li> <li>○情報処理の手順とプログラム</li> <li>○計測・制御の実践</li> <li>・順次</li> <li>・繰り返し、分岐</li> <li>○プログラムの設計と制作</li> <li>○情報に関する技術の評価・活用</li> <li>○3年間の学習の振り返り</li> </ul>
10		
11		
12		
1		
2		
2		

◎ 1学期の期末テスト、2学期の期末テストのときに定期テストを実施します。

# 技術・家庭科（家庭分野）シラバス 3 学年

## □技術・家庭科（家庭分野）の学習とは…

技術・家庭科は『学んだことを生活に活かすことを目標に、将来の自分を思い描きながら学習する教科』です。

3 年生では、家族・家庭とこどもの成長について学習します。主に、幼児の体の成長や身体的機能・生理的機能の発達、基本的生活習慣の獲得、幼児の遊びと成長とのかかわりについて学びます。幼児の遊びの意義について考え、被服製作では幼児のおもちゃの制作を行います。また、自分の成長と生活を振り返り、人とのかかわりと成長についても考えます。

また、「幼児のおやつ作り」として調理実習も予定しています。

## □家庭分野の学習で身に付く力は…

家族や地域の人との関わり・保育・環境に配慮した消費生活などについて自分の生活を見つめ直し、課題を見つけ、より良い生活のための工夫を考えることができるようになります。また、3 年間学んだ事を生かして、義務教育を終えた後の自立に向けての知識と技術を取得することができます。

## □評価の観点と評価方法

家庭分野は、次の 3 つの観点（通知票に記載）を、ABC の 3 段階で評価します。そして、3 つの観点の ABC を基礎に、5 段階の評定をします。

観点	十分満足できる	おおむね満足	努力を要する	評定
知識・技能	A	B	C	5
思考・判断・表現	A	B	C	4
主体的に学習に取り組む態度	A	B	C	3
				2
				1

観点	観点の作成	評価方法（評価資料）
知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能。	定期テストの得点、授業プリントの内容、被服技術、調理技術、発表内容等
思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力。	授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、発表内容等
主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度。	発言内容、提出物の内容、発表内容、授業プリントやレポートの自己評価表の内容、作業への取り組み状況、被服技術等

## □学習の予定

3 年生の家庭科の授業は 4 月から翌年の 3 月まで、一年間通して学習を進めます。1・2 学年時とは異なり、技術分野と家庭分野を隔週で実施します。また、毎学期末に定期テストを行います。

以下が、学習の流れの目安です。

4 月	家庭科のオリエンテーション	10 月	幼児の食生活と栄養
	幼児の成長、身体的・生理的機能について	11 月	幼児の成長と家族・地域
5 月	基本的生活習慣、幼児の生活と遊び	12 月	調理実習
6 月	幼児のおもちゃ制作	1 月	高齢者とのかかわり
7 月	幼児のおもちゃ制作	2 月	中学生にとっての家族
9 月	幼児の観察、疑似体験		

## □使用教材等

調理実習材料費がかかります。

被服実習材料費がかかります。



## 外国語科シラバス 第3学年

### <なぜ英語を勉強するの?>

グローバル時代の今、全世界で英語を話す人は約20億人います(母国語だけでなく、第2言語として使っている人を含める)。こうした事実からもわかるように国際社会で最も使用されている言葉は英語です。今や国を代表する人や企業のリーダーも、スポーツ選手も、世界で活躍している人の多くが英語を使っていますね。海外旅行や海外出張もめずらしくない時代になっています。訪日外国人の数も年々増加し、今後私たちに求められることはそうした方々と手を取り合って共生(互いを尊重し、共に生きる)の態度だといえます。そこで大切なことは、「日本人だから日本語だけでできれば良い」という考えではなく、自分の思いや考えを「外国語(英語)」でも積極的に伝えていく態度です。積極的に自分の考えを発信していきましょう。

### <評価規準について>

	知識・技能	思考判断表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと			
	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。		
	イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができる。		
	ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。		
読むこと			
	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができる。		
	イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができる。		
	ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。		
話すこと(やりとり)			
	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。		
	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。		
	ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。		
話すこと(発表)			
	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができる。		
	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができる。		
	ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて話すことができる。		
書くこと			
	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。		
	イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。		
	ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができる。		

### <家庭学習ではどんなことをするの?>

☆予習(授業の前日):次の日に学習する本文と単語の意味を調べノートに書く。

☆復習(授業の当日):その日に学習した単語や基本文を声に出して書いて覚える。

☆その他:授業で指示が出ることもあります。

### 第3学年の目標

第1、2学年の学習を基礎として、積極的に英語に親しみ、自分の考えや意見を伝えあえるようにする。

<英語の評価>

表の4つの観点から、A:十分に満足できる、B:おおむね満足できる、C:努力を要する、の3段階で評価します。このA、B、Cをもとに5段階の評定が行われます。

	聞くこと	読むこと	話すこと (やりとり)	話すこと (発表)	書くこと
知識・技能	・定期テスト	・音読テスト ・定期テスト	・ALTとの会話	・スピーチ活動	・定期テスト ・小テスト
思考・判断・ 表現	・定期テスト ・ALTとの会話	・音読テスト ・定期テスト	・スキット ・ALTとの会話	・スピーチ活動	・英作文 ・定期テスト
主体的に学習 に取り組む態 度	・会話テスト ・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・授業中の音読	・コミュニケーション活動 ・ワークシート	・スピーチ活動 ・ワークシート ・授業中の挙手 発言	・ノート・ワーク ・ワークシート ・自己評価

<学習計画>

学期	月	題材	文型・文法	目標
1 学期	4 5	Program 1 Bentos Are Interesting! Word Web 1 家の中ですること	ask [tell / want] ~ (人) to... / It is ~ (for+人) to... / 主語+be 動詞+形容詞+that ~.	「人が・・・するのは～だ」などを表現することができる。日本や海外の弁当文化について話すことができる。 自分の大事なものなどについて意欲的に表現することができる。
	5 6	Step 1 ディベートをしよう Program 2 Good Night. Sleep Tight. Power Up 1 道案内をしよう②(電車の乗りかえ)	ディベートの流れと意見の主張の仕方 主語+動詞+(人)+疑問詞節 / 主語+動詞+人など+that ~. Could you tell me how to get to ~?	自分と異なった主張を理解し、議論することができる。 「どこで～したかを覚えている」などを表現することができる。睡眠が生活に与える影響について話すことができる。 電車の乗り換え案内ができる。
	6 7	Program 3 A Hot Sport Today Step 2 メモのとり方を学ぼう Our Project 7 記者会見を開こう	主語+動詞+目的語+補語(名詞 / 形容詞) / 主語+動詞+目的語+動詞の原形 5W1Hを意識しながらメモをとる。 Program 1～3 までの復習	人や物の呼び方などを表現することができる。 気持ちを動かすものなどについて、意欲的に表現することができる。 記者会見の目的に沿って、わかりやすいスピーチ、質疑応答やアドバイスができる。
	7	Reading 1 Faithful Elephants	Reading Activity (長文読解)	長文読解ができる。
2 学期	8 9	Power Up 2 不良品を交換しよう Program 4 Sign Languages, Not Just Gestures!	分詞の後置修飾(現在分詞・過去分詞) ・I'm sitting next to the boy wearing a red cap. ・This is a shirt made in Italy.	買ったものを交換依頼できる。 「～している人」「～されているもの」などを表現できる。手話について話すことができる。
	10	Power Up 3 ホームページで学校紹介 Step 3 かんたんな表現で言いかえよう Program 5 The Story of Chocolate	関係代名詞(主格) who / which / that ・The man who has just run away. ・A member of the cat family which lives in Africa and Asia. ・It's a movie that has touched many people.	ホームページの構成を分析し、自分の学校の行事や部活を英語で書くことができる。 英語での言い方を知らないものを、知っている単語で表現することができる。 人やものをくわしく説明して表現することができる。
	11	Section 4 わかりやすい文章を考えよう Word Web 2 動詞の使い分け Program 6 The Great Pacific Garbage Patch	look, see, watch / hear, listen 関係代名詞(目的格) which / that / 省略 ・Here is a plan which my father made for you. ・They are the cherry trees that Japan gave to Washington, D.C. in 1912.	つながりごとば、構成を意識して文章を読むことができる。 動詞の使い分けができる。 人やものをくわしく説明して表現することができる。 日本のものを詳しく紹介する活動などに意欲的に取り組むことができる。

			・The museum I like the best is near here.	
	12	Section 5 ディスカッションをしよう Our Project 8 私たちの町を世界にPRしよう Power Up 4 非常時のアナウンスを聞こう	無人島に持っていくものを議論する。 これまでの復習 文法表現等の統合活動。 デパート火災で避難経路を聞き取る。	さまざまな事柄について相手と考えや意見を述べ合うことができる。地元のを外国人にPRする台本を考え、ディスカッションで意見をいうことができる。
3 学 期	1	Program 7 Is AI a Friend or an Enemy? Reading 2 Malala's Voice for the Future	仮定法過去 / I wish+主語+仮定法過去 ・If I were you, I would ask someone to help. ・If I had some money, I would buy some cakes.	現在の事実と違うことを仮定して表現することができる。 AI(人口知能)の現状と可能性について話すことができる。
	2	Special Program 中学校の思い出を残そう Word Web オリンピック競技・パラリンピック競技	・I wish I had a camera with me. Reading Activity (長文読解)	自分の考えや希望について、意欲的に表現することができる。 中学3年間の思い出を英語でまとめ残すことができる。オリンピック・パラリンピックについて話すことができる。
	2 3	Further Reading 1・2 The Ig Nobel Prize Library Lion 1~3年生の復習	問題演習	長文読解ができる。

# 「特別の教科道徳」 シラバス

月	回数	教材名		
		1年	2年	3年
4	1	挨拶しますか、しませんか	鳥のように空をとびたい 高梨沙羅	三十点の金メダル
	2	あなたに	ごみ収集場所をどこに	ありがとうの不思議な力
5	3	掃除の神様が教えてくれたこと	ソムチャイ君の笑顔	独りを慎む
	4	うわさで決めるの？	コスモス R 計画	国際協力師 山本敏晴
	5	釣りざおの思い出	ヨコスカネイビーパーカー	忘れられないご馳走
6	6	黒い弁当	僕の職場体験活動「彩の国の道徳」	礼儀って何
	7	バスと赤ちゃん	蹴り続けたボール	二人の弟子
	8	裏庭での出来事	ジャッジとチャレンジ	アップロード ダウンロード
	9	壊れた掲示板	父との約束	スポーツの力 佐藤真海
	10	仮入部「彩の国の道徳」	三度目の号泣	「血の通った義足」を作りたい
	11	いっぱい生きる 全盲の中学校教師	初めてのアルバイト	私たちの夏
7	12	真の国際人 嘉納治五郎	尾高惇忠が目指した富岡製糸場	笛
	13	ロコ・ソラーレ メダルへの挑戦	忘れていたこと「彩の国の道徳」	ねぶたを夢見て
	14	ネット将棋	キャッチボール	思い出のオムライス
8	15	オーストリアのマス川	ブラックジャック ふたりの黒い医者	電車の中で
	16	トキのいる里をもう一度	サキとタク	町工場から宇宙へ
	17	日曜日の朝に	ヒト・IPS 細胞を求めて 山中伸弥	はるかなる生命の物語
9	18	金色の稲穂	言葉の向こうに	領民を愛した名君 上杉鷹山
	19	町内会デビュー	危険地帯から実りの土地へ	二通の手紙
	20	ふと目の前に 森繁久彌	リンゴが教えてくれたこと	もっとわかり合いたい
	21	ネパールのビール	足袋の季節	卒業文集最後の二行
10	22	エルトゥール号の遭難	ものづくり	一冊のノート
	23	公平とはなんだろう	星置の滝	どうして？
	24	自然の懷に抱かれて	厳かなるもの	縦糸と横糸「彩の国の道徳」
	25	伝統を伝説に	黒蜘蛛の元次	入試の朝「彩の国の道徳」
11	26	クラスメイト	僕い	白川郷に魅せられて
	27	日本の心と技	金閣再建 黄金天井に挑む	未来の日本へデビュー
	28	イチローの軌跡	五色桜	正確な日本地図の追究 伊能忠敬
1	29	私たちの初詣「彩の国の道徳」	お通夜のこと	雪が降ると思い出すことがある
	30	認められたクラブ	心のバス交換「彩の国の道徳」	優介の決意
	31	吾一と京造	未来に輝け復興和太鼓	赤道直下にすむマウンテンゴリラ
2	32	傘の下	私は大丈夫そんなきもちはないですか	五井先生と太郎
	33	ゲームから広がる可能性	美しい母の顔	杉原千敏の選択
	34	捨て犬・未来	そこにいるだけでいい	命のタスキ「彩の国の道徳」
3	35	何だっていいんだあ「彩の国の道徳」	帰郷	亡き母へのトランペット

○4月最初の授業で道徳オリエンテーションを行います。

※評価については、各学期通知表に掲載します。